

平成28年度

公益財団法人目黒区芸術文化振興財団
事業報告書

自 平成28年4月 1日

至 平成29年3月31日

公益財団法人目黒区芸術文化振興財団

目 次

平成28年度 事業報告書

はじめに	1
1 事業報告	5
《目黒区文化ホール》	5
自主事業	5
受託事業	41
《目黒区美術館》	49
自主事業	49
受託事業	63
その他事業	69
2 処務の概要	
重要な契約の概要	75
財団運営会議開催状況	75
理事会・評議員会開催状況	76
評議員・理事・監事名簿	77

はじめに

平成28年度は、公益財団法人へ移行後6年目となり、目黒区文化ホール（以下「文化ホール」という。）及び目黒区美術館（以下「美術館」という。）の指定管理も3期目（平成26年4月～平成31年3月）の3年目となりました。

この間、目黒区の緊急財政対策（24年度～26年度実施）による見直しなど、財団に対する財政支援の環境も大きく変化してまいりました。

財団としては、こうした状況の変化を十分に認識しながら、区民や利用者の立場にたって、その期待に応えていかなければなりません。そこで、文化ホールと美術館との連携など様々な創意工夫に心掛け、財団の自主財源や他団体の助成金も活用して、芸術文化振興の使命を果たし、サービスの向上と効率的・効果的な財団運営に努めてまいりました。

1. 文化ホール

財源が限られる中であって、自主事業を40事業、区からの受託事業2事業、指定管理事業1事業を実施し、例年と同規模の事業展開をすることができました。

自主事業のうち鑑賞事業は、財団自らの財源を充てた主催事業のほか、共催事業を活用しながら区民に良質な公演の鑑賞機会を提供し、各年代層の要望に沿いつつ、公演ジャンルが偏らないことなど、年代の枠を超えた集客を目指しながら事業を実施しました。主な主催事業として、幅広い年齢層に支持されている「新春落語」や、新進気鋭のアーティストをソリストに迎えた「フレッシュ名曲コンサート」を実施しました。また、美術館の「色の博物誌」展との連携事業として「ミュージアムコンサート」を美術館で開催しました。

地域の芸術文化・支援事業は、豊かで創造性のある区民文化の醸成と魅力ある地域づくりを目指して地域に根差した事業の展開を図りました。主な主催事業として、区の補助金を充てた「避難訓練コンサート」を行うと共に、宮城県気仙沼市の復興支援を目的に「東日本大震災復興支援事業」を行いました。さらに、地域で優れた芸術文化活動を行う団体への支援の一助として、当財団との共催による事業を行いました。

学習・練習事業は、ワークショップとアウトリーチプログラムを行いました。ワークショップは、中高生を対象にした「演劇」と小中高生を対象にした「ダンス」を行い、実演芸術に親しみ楽しむ機会を提供しました。また大人のためのワークショ

ップは「演劇」を通じた、「表現する機会」を提供することができました。アウトリーチプログラムは、従来と同様、区立小中学校で実施し、児童・生徒に豊かな情操を身に付けていく機会を提供しました。また区立小中学校以外では、引き続き、東京医療センターや区立特別養護老人ホーム3施設を訪問するとともに、心身障害者センターあいアイ館、ひがしやま幼稚園、みどりがおかこども園で初めてのアウトリーチプログラムを実施しました。

受託事業は、「目黒区文化祭」と「めぐろオータムアート」の2事業を実施しました。

指定管理事業の公演は、自主財源を充てて「錦織健テノール・リサイタル」を行い、幅広い世代に質の高い音楽に触れる機会を提供することができました。

貸館事業は、利用者に安心して使用していただけるよう、日常点検や定期的な保守点検による安全の確保を図りながら、施設の適切な運営と管理に努めた結果、全体の利用率としては、利用料金改定前の水準を概ね確保することができました。

2. 美術館

文化ホール同様、財源に限られる中であって、展覧会や教育普及事業、指定管理事業などを実施いたしました。

展覧会は5展開催し、自主事業展覧会として他館と連携協力のもと巡回展となった「没後40年 高島野十郎展」、そのほか「童画の国から」展と「色の博物誌」展の3展を開催しました。また、指定管理事業による展覧会としては、「めぐろの子どもたち展」と「目黒区美術館コレクション展+秋岡芳夫全集4」の2展を開催しました。年間入館者数は合計45,507人で、目標の47,000人に対し1,493人下回ったものの、空調設備工事による減少があった27年度の37,618人と比べて7,889人上回り、約20%の増となりました。

教育普及事業は、展覧会に関連したワークショップとして「童画と絵本」を夏に、「美術を見る・知る」を春に開催したほか、リピーターも増えつつある目黒区総合庁舎建築ガイドツアーや区内小学生を対象としたギャラリーツアー、館長、学芸員による講演会など幅広い年齢層に向けた多彩な事業を実施しました。目黒区総合庁舎建築ガイドツアーや講演会では定員を超える応募があり、昨年と同様に、関心の高さがうかがえました。

指定管理事業である作品の保管については、所蔵作品の修復のほか、作品画像の

デジタル保管に向けて、データ変換処理を進めました。さらに、27年度以降、所蔵作品の棚卸も行っており、30年度までには完了する見込みです。また、国内の美術館など15館に対し作品37点の貸出しを行い活用に供しました。

区民ギャラリーの貸出しは、メンテナンス等に要する期間を除き、95.4%（27年度は86.9%）と利用率は上がり、ほぼ例年の利用状況となりました。さらなる利用率の向上を目指し、区と対応策を協議していくこととしたほか、ローリングタワーへの昇降用に踏み台を設置するなど、安全性、利便性の向上に努めました。

その他、地域の芸術文化振興の一環として、区展及び目黒区写真美術協会など区内4美術団体の展覧会の開催に協力しました。

収益事業は、ラウンジで夏のシーズンに冷たい飲料を用意するなどメニューを工夫し、工事による休館もなかったことから、例年並みの売り上げとなりました。ラウンジの利用にあたっては、26年4月から展覧会を鑑賞する方以外の方もご利用できるようにしていますが、28年度は延べ397人の利用があり、一日当りの平均利用者数は前年度とほぼ同じ約2.3人となりました。

今後とも、区民をはじめ利用者の立場に立ちながら、魅力ある芸術文化活動の展開に心掛けるとともに、限られた財源の有効な活用を通じて、区民の信頼に応える財団の運営と、効率的な施設の管理に努めてまいります。

平成 28 年度 目黒区文化ホール事業報告

第1 自主事業(定款第4条第1項第1号)

1 鑑賞事業

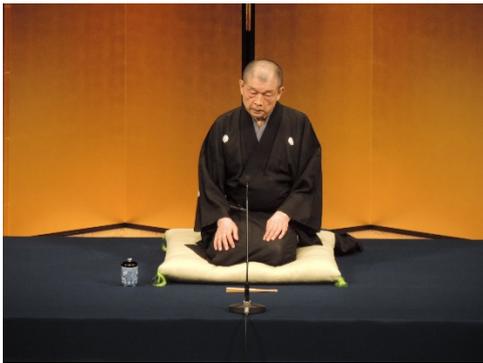
(1) 主催事業 (5 事業=5 公演)

No.	内容		
1	公演名	東京六人組	
	公演日	平成 28 年 7 月 11 日 (月)	
	会場	小ホール	
	料金等	全席指定 3,000 円	
	入場者	186 人【完売】	
	概要	<p>気鋭のソリスト、在京オーケストラの首席奏者といった実力派が集い結成されたグループによる室内楽公演。 出演：上野由恵（フルート）、荒絵理子（オーボエ）、金子平（クラリネット）、福士マリ子（ファゴット）、福川伸陽（ホルン）、三浦友理枝（ピアノ）</p>	
2	公演名	目黒区美術館「色の博物誌—江戸の色材を視る・読む」展 ミュージアムコンサート 「江戸とバロック」	
	公演日	平成 28 年 11 月 5 日 (土)	
	会場	目黒区美術館 ワークショップ室	
	料金等	全席自由 1,500 円	
	入場者	58 人【完売】	
	概要	<p>目黒区美術館の展覧会「色の博物誌—江戸の色材を視る・読む」の会期中に実施したミュージアムコンサート。 展覧会のキーワードである江戸時代の年代が、ヨーロッパではバロック音楽の時代であったことに着目し、和・洋の打楽器と洋のチェンバロ、サクソで、祭りばやしやバロック時代の作品などを演奏した。</p>	

3	公演名	春風亭小朝・三遊亭円楽・春風亭昇太 新春爆笑三人会	
	公演日	平成 29 年 1 月 6 日 (金)	
	会場	大ホール	
	料金等	全席指定 S 席 3,700 円 A 席 3,200 円	
	入場者	1,176 人【完売】	
概要		新春恒例の落語公演。協賛として頂いたお菓子を、抽選で入場者に配布した。 【協賛：自由が丘 蜂の家】	
4	公演名	フレッシュ名曲コンサート めぐろパーシモンホール 春のコンサート	
	公演日	平成 29 年 2 月 11 日 (土・祝)	
	会場	大ホール	
	料金等	全席指定 S 席 3,500 円 A 席 2,800 円 学生席 1,000 円	
	入場者	814 人	
概要		(公財) 東京都歴史文化財団との共同主催。区民にクラシック音楽を親しんでもらうことや若手新進演奏家をソリストに起用し、活動を支援することを目的としたコンサート。 【助成】(公財) 東京都歴史文化財団 【指揮】高関健【ソリスト】黒岩航紀(ピアノ) 【管弦楽】新日本フィルハーモニー交響楽団	
5	公演名	TRIO from quasimode -plays jazz standards vol.2-	
	公演日	平成 29 年 2 月 18 日 (土)	
	会場	小ホール	
	料金等	全席指定：3,000 円 区民割引：1 割引	
	入場者	187 人【完売】	
概要		日本のクラブジャズシーンを席卷した「quasimode (クオシモード)」のメンバーによるピアノ・トリオ公演。協賛として頂いた飲み物を 1 ドリンクとして、入場者に配布した。【協賛：サッポロホールディングス】	

(2) 共催事業 (10 事業=51 公演)

No.	内容		
1	公演名	柳の家の三人会	
	公演日	平成 28 年 4 月 12 日 (火)	
	会場	大ホール	
	料金等	全席指定 S 席 3,700 円 A 席 3,200 円	
	入場者	1,013 人	
	概要	夢空間主催による柳家一門 (柳家花緑、柳家喬太郎、柳家三三) の落語公演。	
2 ①	公演名	パーシモン・ジャズ・ワールドビート 2016	
	公演日	平成 28 年 7 月 16 日 (土)	
	会場	大ホール	
	料金等	S 席 6,800 円 A 席 5,800 円 (小ホール公演とのセット券 7,800 円)	
	入場者	807 人	
	概要	様々なジャズの表現者たちが一堂に会する、(株)プランクトン主催のジャズフェスティバル。 出演：エミ・マイヤーwith ダブルトーラス、畠山美由紀、オマール・ソーサ、熊谷和徳	
2 ②	公演名	パーシモン・ジャズ・ワールドビート 2016 アフタヌーン・サロン・ジャズ	
	公演日	平成 28 年 7 月 16 日 (土)	
	会場	小ホール	
	料金等	全自由席 3,500 円 (大ホール公演とのセット券 7,800 円)	
	入場者	197 人	
	概要	様々なジャズの表現者たちが一堂に会する、(株)プランクトン主催のジャズフェスティバル。 出演：ダブルトーラス、スガダイロー、小沼ようすけ、間を奏でる	

3	公演名	柳家小三治独演会	
	公演日	平成 28 年 8 月 16 日 (火)	
	会場	大ホール	
	料金等	全席指定 S 席 3,800 円 A 席 3,300 円	
	入場者	1,086 人【完売】	
	概要	夢空間主催による柳家小三治の独演会。	
4 ① ②	公演名	めぐろバレエ祭り 東京バレエ団 秘蔵映像上映会 ①ザ・カブキ ②ヴェルサイユ公演	
	公演日	平成 28 年 8 月 17 日 (水) ①13 時／②16 時	
	会場	小ホール	
	料金等	入場無料 (事前申込制)	
	入場者	①116 人 (定員 160 名) ②99 人 (定員 160 名)	
概要	主催者である東京バレエ団のレパトリーのひとつである「ザ・カブキ」と海外公演映像の上映会。各回の前後に東京バレエ団プリンシパル・柄本弾のトークも行った。		
4 ③ ④	公演名	めぐろバレエ祭り 東京バレエ学校 スクールパフォーマンス 第 1 部、第 2 部	
	公演日	平成 28 年 8 月 18 日 (木) 第 1 部 16 時、第 2 部 18 時	
	会場	大ホール	
	料金等	全席指定 大人 3,000 円 子ども (4 歳～中学生) 1,500 円	
	入場者	第 1 部 718 人 第 2 部 1,001 人	
概要	東京バレエ学校の生徒による公演。		

4 ⑤	公演名	めぐろバレエ祭り 新書館「クララ」プレゼンツ ダンサーに教わる！トゥーシューズ・レ ッスン	
	公演日	平成 28 年 8 月 19 日 (金)	
	会場	小ホール	
	料金等	参加費：5,000 円	
	入場者	30 人 (定員 30 名)	
概要	トゥーシューズ歴 1 年以上の小学 4 年生以上を対象にした、ポイントワークがポイ ントとなるヴァリエーションの一部をレッスンするワークショップ。		
4 ⑥ ⑦	公演名	めぐろバレエ祭り チャコットプレゼンツ トゥーシューズを知ろう！	
	公演日	平成 28 年 8 月 19 日 (金) ①15 時 ②16 時 45 分	
	会場	小ホール	
	料金等	入場無料 (事前申込制)	
	入場者	①36 人 (定員 90 名) ②43 人 (定員 90 名)	
概要	プロの職人によるトゥーシューズが出来上がるまでの実演とレクチャー。		
4 ⑧ ⑨	公演名	めぐろバレエ祭り チャコットプレゼンツ ティアラをつくろう！	
	公演日	平成 28 年 8 月 19 日 (金) ①15 時 ②16 時 45 分	
	会場	小ホールホワイエ	
	料金等	参加費：3,000 円	
	入場者	①49 人 (定員 50 名) ②46 人 (定員 50 名)	
概要	ビーズなどを飾りつけて光る自分だけのティアラを作るワークショップ。		

4 ⑩ — ⑬	公演名	めぐろバレエ祭り 親子でリトミック	
	公演日	平成 28 年 8 月 19 日 (金) ①10 時 (0 歳～1 歳半) ②11 時 (1 歳半～2 歳半) ③14 時 (1 歳半～2 歳半) ④15 時 (2 歳半～未就園児)	
	会場	めぐろパーシモンホール第1練習室	
	料金等	参加費：800 円	
	入場者	①12 組 24 人 (定員 15 組 30 名) ②12 組 24 人 (定員 15 組 30 名) ③11 組 22 人 (定員 15 組 30 名) ④8 組 16 人 (定員 15 組 30 名)	
概要	対象年齢別にあわせて体を動かすリズム遊び体験。		
4 ⑭ — ⑰	公演名	めぐろバレエ祭り バレエダンサーと写ろう！	
	公演日	①平成 28 年 8 月 19 日 (金) ②平成 28 年 8 月 20 日 (土) ③④平成 28 年 8 月 21 日 (日)	
	会場	大ホールホワイエ	
	料金等	大ホール公演来場者対象	
	入場者	各回 120 人	
概要	大ホールのホワイエにパネルを設置し、その前で王子様、お姫様に扮したダンサーと一緒に撮影ができるイベント。		
4 ⑱ ⑲	公演名	めぐろバレエ祭り 夏祭りガラ	
	公演日	①平成 28 年 8 月 19 日 (金) ②平成 28 年 8 月 20 日 (土)	
	会場	大ホール	
	料金等	大人 S 席 5,000 円 A 席 4,000 円 子ども (5 歳～中学生) S 席 2,500 円 A 席 2,000 円	
	入場者	①1,099 人 ②1,110 人【完売】	
概要	古典とコンテンポラリーの名作を抜粋した公演。上演作品は、「パキータ」「スプリング・アンド・フォール」「ボレロ」。		

4 ⑳	公演名	めぐろバレエ祭り 東京バレエ団 公開レッスン	
	公演日	平成 28 年 8 月 20 日 (土)	
	会場	大ホール	
	料金等	入場無料	
	入場者	250 人 (定員 700 名)	
	概要	舞台上で行われる東京バレエ団ダンサーたちのレッスンを特別公開した。	
4 ㉑ ㉒	公演名	めぐろバレエ祭り はじめてのバレエ	
	公演日	①平成 28 年 8 月 20 日 (土) ②平成 28 年 8 月 21 日 (日)	
	会場	小ホール	
	料金等	参加費：800 円	
	入場者	①40 人 (定員 40 名) ②39 人 (定員 40 名)	
概要	3 歳から 6 歳までのバレエ未経験の子どもを対象にした体験レッスン。		
4 ㉓	公演名	めぐろバレエ祭り お父さんといっしょ！	
	公演日	平成 28 年 8 月 20 日 (土)	
	会場	小ホール	
	料金等	参加費：800 円	
	入場者	9 組 18 人 (定員 16 組 32 名)	
概要	小学校 1 年生～3 年生の男女とその父親と一緒にバレエ体験できるイベント。講師は元モーリス・ベジャールバレエ団の小林十市。		

4 ②4	公演名	めぐろバレエ祭り お母さんと踊ろう！	
	公演日	平成 28 年 8 月 20 日 (土)	
	会場	小ホール	
	料金等	参加費：800 円	
	入場者	16 組 32 人 (定員 16 組 32 名)	
概要	小学校 1 年生～3 年生の男女とその母親と一緒に体験できるイベント。講師は東京バレエ団プリンシパル渡辺理恵。		
4 ②5	公演名	めぐろバレエ祭り 新書館「クロワゼ」プレゼント 「白鳥の湖」の群舞を踊ろう！	
	公演日	平成 28 年 8 月 20 日 (土)	
	会場	小ホール	
	料金等	参加費：8,000 円	
	入場者	41 人 (定員 42 名)	
概要	「白鳥の湖」(第 2 幕)のコール・ド・バレエ(群舞)を体験できるワークショップ。対象は、20 歳以上の女性(目安としてバレエ経験 3 年以上)。最後に、東京バレエ団プリンシパルの渡辺理恵のオデットと柄本弾の王子と共演した。		
4 ②6	公演名	めぐろバレエ祭り 東京バレエ団公開リハーサル	
	公演日	平成 28 年 8 月 20 日 (土)	
	会場	大ホール	
	料金等	入場無料(事前申込制)	
	入場者	380 人(定員 700 名)	
概要	「ドン・キホーテの夢」のリハーサルを公開した。		

4 ②7	公演名	めぐろバレエ祭り もっと上手に！	
	公演日	平成 28 年 8 月 21 日 (日)	
	会場	小ホール	
	料金等	参加費：800 円	
	入場者	41 人 (定員 40 名)	
	概要	バレエ歴 1 年以上の小学校 1 年生～3 年生を対象にしたワークショップ。	
4 ②8	公演名	めぐろバレエ祭り 絵本をつくろう	
	公演日	平成 28 年 8 月 21 日 (日)	
	会場	めぐろパーシモンホールリハーサル室	
	料金等	参加費：3,000 円	
	入場者	23 人 (定員 30 名)	
	概要	子どものためのバレエ「ねむれる森の美女」の舞台美術を担当した絵本作家・永井郁子が講師の絵本を作るワークショップ。	
4 ②9 ③0	公演名	めぐろバレエ祭り 子どものためのバレエ 「ドン・キホーテの夢」	
	公演日	平成 28 年 8 月 21 日 (日) ①11 時 30 分 ②14 時 30 分	
	会場	大ホール	
	料金等	大人 S 席 5,000 円 A 席 4,000 円 子ども (5 歳～中学生) S 席 2,500 円 A 席 2,000 円	
	入場者	①1,143 人【完売】 ②1,141 人【完売】	
	概要	東京バレエ団による子どものためのバレエ「ドン・キホーテの夢」。劇中、キャラクターのサンチョ・パンサによるお話が入り、初めての方にも楽しめる公演。	

4 ① ② ③	公演名	めぐろバレエ祭り スーパーバレエMIX BON踊り	
	公演日	平成 28 年 8 月 21 日 (日) ①14 時 ②15 時 30 分 ③16 時 45 分	
	会場	小ホール	
	料金等	入場無料	
	入場者	①196 人 ②90 人 ③242 人 (のべ人数)	
概要	小林十市の振り付けと指導による、バレエの簡単な動きを組み合わせたオリジナル盆踊り。今回は新たに、オペラ「ロミオとジュリエット」の音楽で踊る振りが加わった。		
5 ①	公演名	巨竹オーケストラ スアール・アグン 来日公演 2016 ～祝祭の音楽 ジェゴグ・大地の響き～	
	公演日	平成 28 年 10 月 2 日 (日)	
	会場	大ホール	
	料金等	全席指定 S 席 5,800 円 A 席 4,800 円 区民割引 500 円引き	
	入場者	893 人	
概要	(株) プランクトン主催によるインドネシア・バリ島に伝わる竹のガムラン音楽「ジェゴグ」の最高峰グループ、スアール・アグンによるコンサート。		
5 ② ③	公演名	巨竹オーケストラ スアール・アグン 来日公演 2016 ～バリヨガ体験とガムランと影絵～	
	公演日	平成 28 年 10 月 2 日 (日)	
	会場	小ホール	
	料金等	各 500 円 (大ホール公演チケット対象者のみ)	
	入場者	・バリヨガ体験 41 人 ・ガムランと影絵 145 人	
概要	大ホールの関連企画として、「バリのヨガ体験」(講師：小谷野哲郎)と「ガムランと影絵」(出演：川村亘平斎と濱元智行 from 滞空時間)を開催した。		

6	公演名	読売日本交響楽団公開リハーサル	
	公演日	平成 28 年 10 月 13 日 (木)	
	会場	大ホール	
	料金等	入場無料	
	入場者	187 人【先着 500 名・予約不要】	
概要	<p>日本屈指のオーケストラのリハーサルを一部公開した。 【指揮】 シルヴァン・カンブルラン (読売日本交響楽団常任指揮者) 【演奏曲】 ベートーベン：交響曲第 8 番</p>		
7	公演名	三遊亭小遊三・林家たい平 二人会 ～対決！！大月 vs 秩父 目黒編～	
	公演日	平成 28 年 11 月 12 日 (土)	
	会場	大ホール	
	料金等	全席指定 S 席 3,700 円 A 席 3,200 円	
	入場者	1,122 人【完売】	
概要	(株) 夢空間主催による林家たい平・三遊亭小遊三の落語公演。		
8	公演名	TOKYO FM 夢のゴスペルコンサート vol. 4	
	公演日	平成 28 年 12 月 10 日 (土) (全 4 回のワークショップあり)	
	会場	大ホール	
	料金等	全席指定 一般 3,500 円 小中学生 1,000 円	
	入場者	<ul style="list-style-type: none"> ・来場者：737 人 ・ワークショップ参加者：88 人 (定員 100 名) 	
概要	<p>TOKYO FM とムジカキアラ主催によるゴスペルコンサート。市民参加型のワークショップを全 4 回実施し、本番はプロのアーティストと一緒にゴスペル曲をステージで披露した。コンサートの模様は、TOKYO FM で放送された。</p>		

9 ① ②	公演名	Meguro Dance Town 2016 ダンクロ 2016	
	公演日	平成 28 年 12 月 17 日 (土) ①13 時 30 分 ②17 時	
	会場	小ホール	
	料金等	全席指定 1,000 円	
	入場者	①182 人【完売】 ②182 人【完売】	
	概要	「目黒でダンスでクロスしよう」をテーマに、目黒でダンス活動している様々なチーム・団体によるダンスステージ。目黒区内私立高校のダンスチームや発達障害者のダンスチームも参加した。	
9 ③	公演名	Meguro Dance Town 2016 ダレデモダンスワークショップ アクティブシニアワークショップ	
	公演日	平成 28 年 12 月 18 日 (日)	
	会場	小ホール	
	料金等	参加費 3,000 円	
	入場者	11 人 (定員 200 名)	
	概要	主に 60～80 代の方を対象にしたシニア向けダンスワークショップ。	
9 ④	公演名	Meguro Dance Town 2016 ダレデモダンスワークショップ おかあさんといっしょ！わくわく親子ワークショップ	
	公演日	平成 28 年 12 月 18 日 (日)	
	会場	小ホール	
	料金等	参加費 1 組 2,000 円	
	入場者	13 組 26 人 (定員 100 組 200 名)	
	概要	親子向けダンスワークショップ。 対象は、主に幼稚園年少から小学校低学年の男女とその親（ダンス経験問わず）。	

9 ⑤	公演名	Meguro Dance Town 2016 ダレデモダンスワークショップ 美と健康を手に入れよう！美BODYダンスワークショップ	
	公演日	平成 28 年 12 月 18 日 (日)	
	会場	小ホール	
	料金等	参加費 2,000 円	
	入場者	14 人 (定員 200 名)	
	概要	美しいポージングや魅せ方なども研究しながら行うダンスワークショップ。	
9 ⑥ ⑦	公演名	Meguro Dance Town 2016 GRAND SUM —represent—	
	公演日	平成 28 年 12 月 18 日 (日) ①11 時 30 分 ②16 時 00 分	
	会場	大ホール	
	料金等	前売自由席 3,000 円 (区民割引 500 円引き) 前売指定席 4,000 円 当日自由席 4,000 円	
	入場者	①704 人 ②693 人	
	概要	TRFのSAMがプロデュースする有名ダンサーたちが一堂に会するストリートダンス公演。	
10	公演名	新春！デキシーランド・ジャズ・ジャンボリー vol.9	
	公演日	平成 29 年 1 月 7 日 (土)	
	会場	大ホール	
	料金等	全席指定 S 席 5,000 円 A 席 4,500 円	
	入場者	1,082 人	
	概要	一般社団法人日本ポピュラー音楽協会主催によるビッグバンドジャズコンサート。出演は、北村英治、菌田憲一とデキシーキングス、有馬靖彦とデキシージャイブ、デキシーキャッスル、中川喜弘とデキシーサミット、外山喜雄とデキシーセインツ。	

2 地域の芸術文化・支援事業

(1) 主催事業 (3 事業=6 公演)

No.	内容		
1 ①	公演名	めぐろパーシモンホール 第5回避難訓練コンサート	
	公演日	平成28年10月8日(土)	
	会場	大ホール	
	料金等	全席指定、入場無料(要事前申込)	
	入場者	338人【予定数終了・定員500名】	
	概要	<p>コンサート中の災害に備えるために、観客、出演者共に避難訓練に参加する公演。今回は、爆破予告があったことを想定して実施した。 出演者は、警視庁音楽隊、警視庁音楽隊カラーガード(MEC)。 【後援】目黒区【協賛】サクマ製菓(株)【協力】碑文谷警察署、東京急行電鉄(株)</p>	
2 ①	公演名	未来の音シリーズ vol.25 吉田南(ヴァイオリン)	
	公演日	平成28年10月15日(土)	
	会場	小ホール	
	料金等	全席指定2,500円	
	入場者	147人	
	概要	<p>「未来の音」シリーズでは、新進気鋭の若手演奏家に演奏の機会を提供し、優れた演奏を広く区民に紹介している。 2014年第83回日本音楽コンクール第1位、あわせて聴衆賞ほか各賞を獲得するなど、新進気鋭のヴァイオリニスト、吉田南によるコンサート。</p>	
2 ②	公演名	未来の音シリーズ vol.26 藤田真央(ピアノ)	
	公演日	平成28年12月4日(日)	
	会場	小ホール	
	料金等	全席指定2,500円	
	入場者	180人【完売】	
	概要	<p>新進気鋭の若手演奏家が出演する「未来の音」シリーズ。 国内外で演奏活動を行っており、ショパン国際音楽祭(ポーランド)、アッシジ音楽祭(イタリア)などの音楽祭に出演している今注目の若手ピアニストによるオールロシアプログラムのコンサート。</p>	

3 ①	公演名	東日本大震災復興支援コンサート アウトリーチ 特別養護老人ホーム 恵心寮	
	公演日	平成 29 年 2 月 12 日 (日)	
	会場	特別養護老人ホーム恵心寮 (宮城県気仙沼市)	
	入場者	55 人	
	概要	東日本大震災復興支援コンサートの出演者であるヤマハ目黒吹奏楽団が、宮城県気仙沼市の特別養護老人ホーム恵心寮で、アウトリーチを行った。 【助成】一般財団法人地域創造	
3 ②	公演名	東日本大震災復興支援コンサート	
	公演日	平成 29 年 3 月 5 日 (日)	
	会場	小ホール	
	料金等	全席指定 1,000 円	
	入場者	189 人【完売】	
概要	東日本大震災の発生から 6 年が経過し、震災の記憶を風化させることなく、目黒区の友好都市気仙沼市の復興を支援する事業として、昨年に引き続き実施した。 出演は、熊谷育美 (シンガーソングライター)、岡本優子 (ピアノ)、気仙沼市民吹奏楽団、ヤマハ目黒吹奏楽団、目黒区立中目黒小学校合唱団、佐藤千晶 (司会)。 【助成】一般財団法人地域創造		
3 ③	公演名	東日本大震災復興支援コンサート 関連イベント 物産展&震災復興写真展	
	公演日	平成 29 年 3 月 5 日 (日)	
	会場	小ホールホワイエ	
	料金等	入場無料	
	入場者	500 人 (のべ人数)	
概要	ホールのホワイエでは、宮城県気仙沼市の物産展や写真展を開催し、多くのお客様が来場した。 【助成】一般財団法人地域創造		

(2) 共催事業 (18 事業=21 公演)

No.	内容		
1	公演名	目黒区東山オーケストラ 第 22 回定期演奏会	
	公演日	平成 28 年 4 月 10 日(日)	
	会場	大ホール	
	料金等	入場無料	
	入場者	1,200 人	
	概要	目黒区立東山小学校特設管弦楽クラブと、そのOB・OGによるオーケストラ公演を実施した。	
2 ① ②	公演名	東京インターアーツ目黒 和草コンサート	
	公演日	平成 28 年 5 月 21 日 (土) ①14 時／②18 時 30 分	
	会場	中目黒G Tプラザホール	
	料金等	全席自由：3,000 円	
	入場者	1 回目：104 人 2 回目：57 人	
	概要	東京インターアーツ目黒主催による和楽器中心のコンサート。	
3	公演名	ヤマハ目黒吹奏楽団 第 36 回定期演奏会	
	公演日	平成 28 年 6 月 5 日 (日)	
	会場	大ホール	
	料金等	入場無料	
	入場者	1,002 人	
	概要	目黒区で活動しているヤマハ目黒吹奏楽団主催による第 36 回定期演奏会。	

4	公演名	目黒区民交響楽団 第 83 回定期演奏会	
	公演日	平成 28 年 6 月 12 日 (日)	
	会場	大ホール	
	料金等	全席自由 : 1,000 円	
	入場者	876 人	
	概要	目黒区で活動している目黒区民交響楽団主催による第 83 回定期演奏会。	
5	公演名	東京新聞全国舞踊コンクール 上位入賞者による 「第 33 回アンコール公演」	
	公演日	平成 28 年 6 月 25 日 (土)	
	会場	大ホール	
	料金等	全席自由 : 2,500 円 当日券 : 2,800 円	
	入場者	856 人	
	概要	東京新聞主催による全国舞踊コンクールの上位入賞者 (第 73 回全国舞踊コンクール各部門上位 3 位までの入賞者) による公演。	
6	公演名	第 63 回東京新聞児童舞踊合同公演	
	公演日	平成 28 年 6 月 26 日 (日)	
	会場	大ホール	
	料金等	全席自由 : 2,000 円	
	入場者	1,418 人 (のべ人数)	
	概要	東京新聞主催による児童舞踊部門の合同公演。	

7	公演名	東京マンドリン宮田楽団 第135回定期演奏会	
	公演日	平成28年7月3日(日)	
	会場	大ホール	
	料金等	入場無料、招待券(事前申込)	
	入場者	1,070人	
	概要	目黒区で活動している東京マンドリン宮田楽団による定期演奏会。	
8	公演名	第14回パーシモンほたるまつり	
	公演日	平成28年7月10日(日)	
	会場	大ホール、小ホール めぐろ区民キャンパス	
	料金等	入場無料	
	入場者	来場者8,800人 (ホテル観賞1,800人含む)	
概要	周辺の小・中・高・大学や町会、都立大学商店街連合会等が参加した実行委員会形式による事業。器楽演奏、ダンス、模擬店、そして今回新たに書道パフォーマンスを実施した。		
9	公演名	伝統文化「文楽」に親しむ	
	公演日	平成28年9月23日(金)	
	会場	小ホール	
	料金等	全席自由500円	
	入場者	184人【完売】	
	概要	(公財)北野生涯教育振興会主催の「身近な場所で日本の伝統文化を親しむ」シリーズ。体験コーナーとミニ公演を組み合わせた内容で、これまで歌舞伎、雅楽、能、狂言を実施している。	

10 ① ②	公演名	東邦音楽大学ウインドオーケストラ・ スペシャルユニット オータムコンサート on ウインドオーケ ストラ	
	公演日	平成 28 年 10 月 9 日 (日)	
	会場	小ホール	
	料金等	全席自由 1,000 円	
	入場者	①124 人 ②124 人	
	概要	東邦音楽大学ウインドオーケストラ・スペシャルユニット主催による吹奏楽の コンサート。人気のジャズナンバーやポップスをアレンジした迫力のサウンド を披露した。	
11	公演名	第 23 回めぐろ童謡コンサート	
	公演日	平成 28 年 10 月 23 日 (日)	
	会場	大ホール	
	料金等	全席自由 前売券 800 円/当日券 1,000 円	
	入場者	1,010 人 (のべ人数)	
	概要	童謡の里めぐろ保存会主催による童謡コンサート。出演者は、大庭照子 (N P O 法人日本国際童謡館館長)、田中直子 (うた)・岩本眞由子 (ピアノ) ほか。	
12	公演名	目黒ユネスココンサート 2016 ～次世代への平和と文化のメッセージ アルゼンチンタンゴとクラシックのコラボ	
	公演日	平成 28 年 12 月 4 日 (日)	
	会場	大ホール	
	料金等	全席自由 4,000 円 ペア券 5,500 円 学生 1,000 円	
	入場者	820 人	
	概要	目黒ユネスコ協会主催によるコンサート。出演者は、小松亮太 (バンドネオン)、 Orchestra MOTIF (東京藝術大学の学生や卒業生を中心としたメンバーで構成)	

13	公演名	目黒区民交響楽団 第 84 回定期演奏会	
	公演日	平成 28 年 12 月 11 日 (日)	
	会場	大ホール	
	料金等	全席自由 : 1,000 円	
	入場者	1,116 人	
概要		目黒区で活動している目黒区民交響楽団主催による第 84 回定期演奏会。	
14	公演名	身体で聴こう音楽会 第 234 回定期コンサート	
	公演日	平成 28 年 12 月 25 日 (日)	
	会場	小ホール	
	料金等	入場無料 (事前申込)	
	入場者	160 人	
概要		パイオニア株式会社主催による、聴覚障害者向けのクリスマスコンサート。障害を持つ方のために、音を振動に変える体感音響システムを使用した。	
15	公演名	東日本大震災鎮魂コンサート vol.4 ～あれから 6 年命の絆 今ふたたび～	
	公演日	平成 29 年 3 月 11 日 (土)	
	会場	小ホール	
	料金等	全席自由 1,000 円	
	入場者	184 人【完売】	
概要		(公財) 北野生涯教育振興会主催の公募の合唱団である「レクイエムを学び歌う会」が、半年かけて練習し、東日本大震災の被災地への鎮魂の思いを込めて、成果を発表した。また、講談師の宝井琴柑が「エルトゥール号の遭難～山田寅次郎の足跡」を講談で紹介した。なお、入場料収入は目黒区を通して被災地に寄付した。	

16 ① ②	公演名	親子のためのふれあいコンサート 2017	
	公演日	①②平成 29 年 3 月 18 日 (土) 11 時 / 14 時 30 分	
	会場	小ホール	
	料金等	全席自由 (3 歳以上) 前売券 2,500 円 当日券 3,000 円	
	入場者	1 回目 : 151 人 2 回目 : 171 人	
概要		東京ユニバーサル・フィルハーモニー管弦楽団主催による親子向けコンサート。	
17	公演名	第 14 回めぐろクラシックセレクション 目黒区クラシック音楽家協会コンサート	
	公演日	平成 29 年 3 月 19 日 (日)	
	会場	大ホール	
	料金等	全席自由 一般 : 2,000 円 学生 : 1,000 円	
	入場者	807 人	
概要		目黒区クラシック音楽家協会主催による、声楽やピアノ、弦楽など協会員が出演のコンサート。	
18	公演名	東京新聞主催 第 74 回全国舞踊コンクール	
	公演日	平成 29 年 3 月 23 日 (木) ~ 平成 29 年 4 月 4 日 (火)	
	会場	大ホール	
	料金等	入場無料	
	入場者	7,400 人 (のべ人数)	
	概要		

3 学習・練習事業

(1) 主催事業 (4 事業=34 公演)

No.	内容		
1 ①	公演名	めぐろパーシモンホール 学校アウトリーチ	
	公演日	平成 28 年 7 月 5 日 (火)	
	会場	目黒区立向原小学校	
	入場者	小学 3、4 年生 88 人	
	概要	<ul style="list-style-type: none"> 区内小中学校へのアウトリーチ活動。 出演：原田照久（トランペット）、東野匡訓（トランペット）、根本めぐみ（ホルン）、廣田純一（トロンボーン）、山崎勇太（チューバ） 【後援：目黒区教育委員会】 【助成：平成 28 年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業】 	
1 ②	公演名	めぐろパーシモンホール 学校アウトリーチ	
	公演日	平成 28 年 7 月 7 日 (木)	
	会場	目黒区立烏森小学校	
	入場者	小学 5 年生 43 人	
	概要	<ul style="list-style-type: none"> 区内小中学校へのアウトリーチ活動。 出演：湯浅ももこ（ソプラノ）、高橋祐樹（バリトン）、谷合千文（ピアノ） 【後援：目黒区教育委員会】 【制作協力：NPO 法人日本声楽家協会】 【協賛：（公財）北野生涯教育振興会】 【助成：平成 28 年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業】 	
1 ③	公演名	めぐろパーシモンホール 学校アウトリーチ	
	公演日	平成 28 年 7 月 8 日 (金)	
	会場	目黒区立原町小学校	
	入場者	小学 5、6 年生 64 人	
	概要	<ul style="list-style-type: none"> 区内小中学校へのアウトリーチ活動。 出演：原田照久（トランペット）、東野匡訓（トランペット）、根本めぐみ（ホルン）、廣田純一（トロンボーン）、山崎勇太（チューバ） 【後援：目黒区教育委員会】 【助成：平成 28 年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業】 	

1 ④	公演名	めぐろパーシモンホール 学校アウトリーチ	
	公演日	平成 28 年 7 月 13 日 (水)	
	会場	目黒区立田道小学校	
	入場者	小学 5 年生 48 人	
	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・区内小中学校へのアウトリーチ活動。 ・出演：荒牧小百合（ソプラノ）、土崎譲（テノール）、矢野里奈（ピアノ） ・【後援：目黒区教育委員会】 ・【制作協力：NPO法人日本声楽家協会】 ・【協賛：（公財）北野生涯教育振興会】 ・【助成：平成 28 年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業】 	
1 ⑤	公演名	めぐろパーシモンホール 学校アウトリーチ	
	公演日	平成 28 年 7 月 15 日 (金)	
	会場	目黒区立第八中学校	
	入場者	中学 2 年生 76 人 (特別支援学級生徒 6 人含む)	
	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・区内小中学校へのアウトリーチ活動。 ・出演：平中麻貴（ソプラノ）、高橋祐樹（バリトン）、古川かりん（ピアノ） ・【後援：目黒区教育委員会】 ・【制作協力：NPO法人日本声楽家協会】 ・【協賛：（公財）北野生涯教育振興会】 ・【助成：平成 28 年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業】 	
1 ⑥	公演名	めぐろパーシモンホール 学校アウトリーチ	
	公演日	平成 28 年 9 月 5 日 (月)、6 日 (火)	
	会場	目黒区立東根小学校	
	入場者	小学 4 年生 134 人	
	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・区内小中学校へのアウトリーチ活動。 ・出演：小林武文（パーカッション）、相川瞳（パーカッション）、上原なな江（パーカッション） ・【後援：目黒区教育委員会】 ・【助成：平成 28 年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業】 	

1 ⑦	公演名	めぐろパーシモンホール 学校アウトリーチ	
	公演日	平成 28 年 9 月 23 日 (金)	
	会場	目黒区立菅刈小学校	
	入場者	小学 4、5 年生 80 人	
	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・区内小中学校へのアウトリーチ活動。 ・出演：鶴木絵里（ソプラノ）、萩原潤（バリトン）、松本康子（ピアノ） ・【後援：目黒区教育委員会】 ・【制作協力：NPO法人日本声楽家協会】 ・【助成：平成 28 年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業】 	
1 ⑧	公演名	めぐろパーシモンホール 学校アウトリーチ	
	公演日	平成 28 年 11 月 22 日 (火)	
	会場	目黒区立八雲小学校	
	入場者	小学 5、6 年生 95 人	
	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・区内小中学校へのアウトリーチ活動。 ・出演：クルト・ケルナー&マルティン・ミューリンガー（カメラータ・ザルツブルグ/トランペット）、杉下りずむ（ピアノ） ・【後援：目黒区教育委員会】 ・【制作協力：NPO法人子どもに音楽を】 ・【助成：平成 28 年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業】 	
1 ⑨	公演名	めぐろパーシモンホール 学校アウトリーチ	
	公演日	平成 28 年 11 月 22 日 (火)	
	会場	目黒区立緑ヶ丘小学校	
	入場者	小学 5 年生 39 人	
	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・区内小中学校へのアウトリーチ活動。 ・出演：荒牧小百合（ソプラノ）、原田勇雅（バリトン）、矢野里奈（ピアノ） ・【後援：目黒区教育委員会】 ・【制作協力：NPO法人日本声楽家協会】 ・【助成：平成 28 年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業】 	

1 ⑩	公演名	めぐろパーシモンホール 学校アウトリーチ	
	公演日	平成 28 年 11 月 29 日 (火)	
	会場	目黒区立宮前小学校	
	入場者	小学 6 年生 70 人	
	概要	<ul style="list-style-type: none"> 区内小中学校へのアウトリーチ活動。 出演：読売日本交響楽団メンバー 田中敏雄（トランペット）、尹千浩（トランペット）、久永重明（ホルン）、古賀光（トロンボーン）、次田心平（チューバ） 【後援：目黒区教育委員会】 【助成：平成 28 年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業】 	
1 ⑪	公演名	めぐろパーシモンホール 学校アウトリーチ	
	公演日	平成 28 年 12 月 5 日 (月)	
	会場	目黒区立月光原小学校	
	入場者	小学 5 年生 43 人	
	概要	<ul style="list-style-type: none"> 区内小中学校へのアウトリーチ活動。 出演：漆原啓子（ヴァイオリン）、山中惇史（ピアノ） 【後援：目黒区教育委員会】 【制作協力：NPO法人子どもに音楽を】 【助成：平成 28 年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業】 	
1 ⑫	公演名	めぐろパーシモンホール 学校アウトリーチ	
	公演日	平成 28 年 12 月 8 日 (木)	
	会場	目黒区立中目黒小学校	
	入場者	小学 6 年生 82 人	
	概要	<ul style="list-style-type: none"> 区内小中学校へのアウトリーチ活動。 出演：熱帯 J A Z Z 楽団メンバー カルロス菅野（パーカッション）、奥山勝（ピアノ）、澁谷和利（ベース）、荒川琢哉（パーカッション） 【後援：目黒区教育委員会】 【助成：平成 28 年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業】 	

1 ⑬	公演名	めぐろパーシモンホール 学校アウトリーチ	
	公演日	平成 28 年 12 月 8 日 (木)	
	会場	目黒区立五本木小学校	
	入場者	小学 5 年生 71 人	
	概要	<ul style="list-style-type: none"> 区内小中学校へのアウトリーチ活動。 出演：熱帯 J A Z Z 楽団メンバー カルロス菅野 (パーカッション)、奥山勝 (ピアノ)、澁谷和利 (ベース)、荒川琢哉 (パーカッション) 【後援：目黒区教育委員会】 【助成：平成 28 年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業】 	
1 ⑭	公演名	めぐろパーシモンホール 学校アウトリーチ	
	公演日	平成 28 年 12 月 20 日 (火)	
	会場	目黒区立駒場小学校	
	入場者	小学 6 年生 67 人	
	概要	<ul style="list-style-type: none"> 区内小中学校へのアウトリーチ活動。 出演：熱帯 J A Z Z 楽団メンバー カルロス菅野 (パーカッション)、奥山勝 (ピアノ)、澁谷和利 (ベース)、荒川琢哉 (パーカッション) 【後援：目黒区教育委員会】 【助成：平成 28 年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業】 	
1 ⑮	公演名	めぐろパーシモンホール 学校アウトリーチ	
	公演日	平成 28 年 12 月 20 日 (火)	
	会場	目黒区立下目黒小学校	
	入場者	小学 6 年生 42 人	
	概要	<ul style="list-style-type: none"> 区内小中学校へのアウトリーチ活動。 出演：熱帯 J A Z Z 楽団メンバー カルロス菅野 (パーカッション)、奥山勝 (ピアノ)、澁谷和利 (ベース)、荒川琢哉 (パーカッション) 【後援：目黒区教育委員会】 【助成：平成 28 年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業】 	

1 ⑩	公演名	めぐろパーシモンホール 学校アウトリーチ	
	公演日	平成 28 年 12 月 21 日 (水)	
	会場	目黒区立中根小学校	
	入場者	小学 4 年生 60 人	
	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・区内小中学校へのアウトリーチ活動。 ・出演：熱帯 J A Z Z 楽団メンバー カルロス菅野 (パーカッション)、奥山勝 (ピアノ)、澁谷和利 (ベース)、荒川琢哉 (パーカッション) ・【後援：目黒区教育委員会】 ・【助成：平成 28 年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業】 	
1 ⑪	公演名	めぐろパーシモンホール 学校アウトリーチ	
	公演日	平成 28 年 12 月 21 日 (水)	
	会場	目黒区立上目黒小学校	
	入場者	小学 5、6 年生 50 人	
	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・区内小中学校へのアウトリーチ活動。 ・出演：熱帯 J A Z Z 楽団メンバー カルロス菅野 (パーカッション)、奥山勝 (ピアノ)、澁谷和利 (ベース)、荒川琢哉 (パーカッション) ・【後援：目黒区教育委員会】 ・【助成：平成 28 年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業】 	
1 ⑫	公演名	めぐろパーシモンホール 学校アウトリーチ	
	公演日	平成 29 年 1 月 17 日 (火)	
	会場	目黒区立不動小学校	
	入場者	小学 5 年生 79 人	
	概要	<ul style="list-style-type: none"> 区内小中学校へのアウトリーチ活動。 ・出演：原田照久 (トランペット)、金丸響子 (トランペット)、豊田実加 (ホルン)、廣田純一 (トロンボーン)、山崎勇太 (チューバ) ・【後援：目黒区教育委員会】 ・【助成：平成 28 年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業】 	

1 ⑱	公演名	めぐろパーシモンホール 学校アウトリーチ	
	公演日	平成 29 年 1 月 23 日 (月)	
	会場	目黒区立鷹番小学校	
	入場者	小学 6 年生 72 人	
	概要	区内小中学校へのアウトリーチ活動。 <ul style="list-style-type: none"> ・出演：松山冨花（ヴァイオリン）、津田裕也（ピアノ） ・【後援：目黒区教育委員会】 ・【助成：平成 28 年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業】 	
1 ⑳	公演名	めぐろパーシモンホール 学校アウトリーチ	
	公演日	平成 29 年 2 月 9 日 (木)	
	会場	目黒区立碑小学校	
	入場者	小学 6 年生 100 人	
	概要	区内小中学校へのアウトリーチ活動。 <ul style="list-style-type: none"> ・出演：渡辺玲子（ヴァイオリン）、小森谷裕子（ピアノ） ・【後援：目黒区教育委員会】 ・【助成：平成 28 年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業】 	
1 ㉑	公演名	めぐろパーシモンホール 学校アウトリーチ	
	公演日	平成 29 年 2 月 9 日 (木)	
	会場	目黒区立第十中学校	
	入場者	中学 2 年生 87 人	
	概要	区内小中学校へのアウトリーチ活動。 <ul style="list-style-type: none"> ・出演：白石光隆（ピアノ）、田中靖人（サクソ） ・【後援：目黒区教育委員会】 ・【助成：平成 28 年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業】 	

1 ②	公演名	めぐろパーシモンホール 学校アウトリーチ	
	公演日	平成 29 年 2 月 20 日 (月)	
	会場	目黒区立油面小学校	
	入場者	小学 4 年生 64 人	
概要	区内小中学校へのアウトリーチ活動。 ・出演：川田知子（ヴァイオリン）、須関裕子（ピアノ） ・【後援：目黒区教育委員会】 ・【助成：平成 28 年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業】		
2 ①	公演名	めぐろパーシモンホール 学校以外のアウトリーチ	
	公演日	平成 28 年 10 月 5 日 (水)	
	会場	独立行政法人国立病院機構 東京医療センター	
	入場者	230 人	
概要	・学校以外へのアウトリーチ活動。 ・出演：東邦音楽大学ウインドオーケストラスペシャルユニット 須永真純（クラリネット）、荒井純一郎（フルート）、奈良美里（サクソクス）、浅野和子（ピアノ） ・【助成：平成 28 年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業】		
2 ②	公演名	めぐろパーシモンホール 学校以外のアウトリーチ	
	公演日	平成 28 年 10 月 17 日 (月)	
	会場	目黒区立特別養護老人ホーム東山	
	入場者	40 人	
概要	・学校以外へのアウトリーチ活動。 ・出演：目黒区民交響楽団メンバー 望月邦子（ヴァイオリン）、横田由美（ヴァイオリン）、油谷伸一（ヴァイオラ）、橋本安男（チェロ）、山本紀子（司会） ・【助成：平成 28 年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業】		

2 ③	公演名	めぐろパーシモンホール 学校以外のアウトリーチ	
	公演日	平成 28 年 10 月 19 日 (水)	
	会場	目黒区立特別養護老人ホーム東が丘	
	入場者	60 人	
	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・学校以外へのアウトリーチ活動。 ・出演：目黒区民交響楽団メンバー 望月邦子（ヴァイオリン）、横田由美（ヴァイオリン）、油谷伸一（ヴィオラ）、橋本安男（チェロ）、村上千香（司会） ・【助成：平成 28 年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業】 	
2 ④	公演名	めぐろパーシモンホール 学校以外のアウトリーチ	
	公演日	平成 28 年 11 月 2 日 (水)	
	会場	目黒区立特別養護老人ホーム中目黒	
	入場者	60 人	
	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・学校以外へのアウトリーチ活動。 ・出演：目黒区民交響楽団メンバー 望月邦子（ヴァイオリン）、横田由美（ヴァイオリン）、油谷伸一（ヴィオラ）、橋本安男（チェロ）、村上千香（司会） ・【助成：平成 28 年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業】 	
2 ⑤	公演名	めぐろパーシモンホール 学校以外のアウトリーチ	
	公演日	平成 28 年 11 月 16 日 (水)	
	会場	目黒区立心身障害者センター あいアイ館	
	入場者	70 人	
	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・学校以外へのアウトリーチ活動。 ・出演：鶴木絵里（ソプラノ）、土崎譲（テノール）、松本康子（ピアノ） ・【制作協力：NPO法人日本声楽家協会】 ・【助成：平成 28 年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業】 	

2 ⑥	公演名	めぐろパーシモンホール 学校以外のアウトリーチ	
	公演日	平成 28 年 12 月 6 日 (火)	
	会場	目黒区立ひがしやま幼稚園	
	入場者	4、5 歳児 68 人	
	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・学校以外へのアウトリーチ活動。 ・出演：平中麻貴（ソプラノ）、大山大輔（バリトン）、古川かりん（ピアノ） ・【制作協力：NPO法人日本声楽家協会】 ・【助成：平成 28 年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業】 	
2 ⑦	公演名	めぐろパーシモンホール 学校以外のアウトリーチ	
	公演日	平成 29 年 3 月 29 日 (水)	
	会場	目黒区立みどりがおかこども園	
	入場者	4、5 歳児 42 人	
	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・学校以外へのアウトリーチ活動。 ・出演：平中麻貴（ソプラノ）、猪村浩之（テノール）、福崎由香（ピアノ） ・【制作協力：NPO法人日本声楽家協会】 ・【助成：平成 28 年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業】 	
3 ①	公演名	パーシモンパレットプログラム 2016 「演劇入門ワークショップ」	
	公演日	平成 28 年 6 月 4 日 (土)	
	会場	小ホール	
	料金等	参加費：1,500 円	
	入場者	参加者 36 人（定員 30 名）	
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・「演劇」コースの初心者ワークショップ。 ・対象者：中学生、高校生 ・講師：平田オリザ（劇作家、演出家） ・【協賛：（公財）北野生涯教育振興会】 ・【助成：平成 28 年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業】 		

3 ②	公演名	パーシモンパレットプログラム 2016 「夏休み演劇ワークショップ&発表会」	
	公演日	平成 28 年 7 月 26 日 (火)～ 7 月 30 日 (土) *最終日が発表会	
	会場	小ホール	
	料金等	・参加費 3,000 円 ・発表会 入場無料	
	入場者	・参加者 15 人 (定員 20 名) ・発表会入場者 66 人	
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・「演劇」コースの経験者ワークショップ ・対象者：中学生、高校生 ・講師：工藤千夏 (劇作家、演出家) ・【協賛：(公財)北野生涯教育振興会】 ・【助成：平成 28 年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業】 		
3 ③	公演名	パーシモンパレットプログラム 2016 「タップダンスワークショップ&発表会」	
	公演日	平成 28 年 7 月 26 日 (火)～ 7 月 29 日 (金) *最終日が発表会	
	会場	小ホール	
	料金等	参加費：2,500 円	
	入場者	・参加者 18 人 (定員 30 名) ・発表会入場者 53 人	
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・「タップダンス」のワークショップ。 ・対象者：小学 4 年生から高校生以下 ・講師：KAZ TAP STUDIO 講師 ・【協賛：(株)アペックス】 ・【助成：平成 28 年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業】 		
4 ① ②	公演名	大人の演劇ワークショップ 朗読パフォーマンス マイライフ・マイステージ 発表会	
	公演日	平成 28 年 9 月 18 日 (日) (全 8 回のワークショップあり)	
	会場	小ホール・リハーサル室・心身障害者センターあいアイ館	
	料金等	・発表会：500 円 ・ワークショップ参加費：1,500 円	
	入場者	・来場者：①66 人 ②78 人 ・ワークショップ参加者：20 人 (定員 20 名)	
概要	<p>大人のための演劇ワークショップ。全 8 回のワークショップ。 講師は、能祖将夫 (桜美林大学芸術文化学群教授・北九州芸術劇場プロデューサー)、竹村浄子 (ピアノ)、井上大輔 (ダンス)、藤井友美 (ダンス)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【協賛：(株)アペックス】 ・【助成：平成 28 年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業】 		

No	月/日	施設名	参加者	出演者
1	7月5日(火)	向原小学校	3、4年生 88人	原田照久(トランペット)、東野匡訓(トランペット)、根本めぐみ(ホルン)、廣田純一(トロンボーン)、山崎勇太(チューバ)
2	7月7日(木)	烏森小学校	5年生 43人	湯浅ももこ(ソプラノ)、高橋祐樹(バリトン)、谷合千文(ピアノ)
3	7月8日(金)	原町小学校	5、6年生 64人	原田照久(トランペット)、東野匡訓(トランペット)、根本めぐみ(ホルン)、廣田純一(トロンボーン)、山崎勇太(チューバ)
4	7月13日(水)	田道小学校	5年生 48人	荒牧小百合(ソプラノ)、土崎譲(テノール)、矢野里奈(ピアノ)
5	7月15日(金)	第八中学校	2年生 76人	平中麻貴(ソプラノ)、高橋祐樹(バリトン)、古川かりん(ピアノ)
6	9月5日(月)、6日(火)	東根小学校	4年生 134人	小林武文、相川瞳、上原なな江(パーカッション)
7	9月23日(金)	菅刈小学校	4、5年生 80人	鶴木絵里(ソプラノ)、萩原潤(バリトン)、松本康子(ピアノ)
8	10月5日(水)	独立行政法人 国立病院機構 東京医療センター	230人	東邦音楽大学ウインドオーケストラスペシャルユニット 須永真純(クラリネット)、荒井純一郎(フルート)、奈良美里(サクソ)、浅野和子(ピアノ)
9	10月17日(月)	特別養護老人 ホーム東山	40人	目黒区民交響楽団メンバー 望月邦子(ヴァイオリン)、横田由美(ヴァイオリン)、油谷伸一(ヴィオラ)、橋本安男(チェロ)、山本紀子(司会)
10	10月19日(水)	特別養護老人 ホーム東が丘	60人	目黒区民交響楽団メンバー 望月邦子(ヴァイオリン)、横田由美(ヴァイオリン)、油谷伸一(ヴィオラ)、橋本安男(チェロ)、村上千香(司会)
11	11月2日(水)	特別養護老人 ホーム中目黒	60人	目黒区民交響楽団メンバー 望月邦子(ヴァイオリン)、横田由美(ヴァイオリン)、油谷伸一(ヴィオラ)、橋本安男(チェロ)、村上千香(司会)
12	11月16日(水)	心身障害者センター あいアイ館	70人	鶴木絵里(ソプラノ)、土崎譲(テノール)、松本康子(ピアノ)
13	11月22日(火)	八雲小学校	5、6年生 95人	カメラータ・ザルツブルグ楽団員 クルト・ケルナー&マルティン・ミュeringer(トランペット)、杉下りずむ(ピアノ)
14	11月22日(火)	緑ヶ丘小学校	5年生 39人	荒牧小百合(ソプラノ)、原田勇雅(バリトン)、矢野里奈(ピアノ)
15	11月29日(火)	宮前小学校	6年生 70人	田中敏雄(トランペット)、尹千浩(トランペット)、久永重明(ホルン)、古賀光(トロンボーン)、次田心平(チューバ)
16	12月5日(月)	月光原小学校	5年生 43人	漆原啓子(ヴァイオリン)、山中惇史(ピアノ)
17	12月6日(火)	ひがしやま幼稚園	4、5歳児 68人	平中麻貴(ソプラノ)、大山大輔(バリトン)、古川かりん(ピアノ)
18	12月8日(木)	中目黒小学校	6年生 82人	熱帯 JAZZ 楽団メンバー カルロス菅野(パーカッション)、奥山勝(ピアノ)、澁谷和利(ベース)、荒川琢哉(パーカッション)

19	12月8日(木)	五本木小学校	5年生 71人	熱帯 JAZZ 楽団メンバー カルロス菅野(パーカッション)、奥山勝(ピアノ)、澁谷和利(ベース)、荒川琢哉(パーカッション)
20	12月20日(火)	駒場小学校	6年生 67人	熱帯 JAZZ 楽団メンバー カルロス菅野(パーカッション)、奥山勝(ピアノ)、澁谷和利(ベース)、荒川琢哉(パーカッション)
21	12月20日(火)	下目黒小学校	6年生 42人	熱帯 JAZZ 楽団メンバー カルロス菅野(パーカッション)、奥山勝(ピアノ)、澁谷和利(ベース)、荒川琢哉(パーカッション)
22	12月21日(水)	中根小学校	4年生 60人	熱帯 JAZZ 楽団メンバー カルロス菅野(パーカッション)、奥山勝(ピアノ)、澁谷和利(ベース)、荒川琢哉(パーカッション)
23	12月21日(水)	上目黒小学校	5、6年生 50人	熱帯 JAZZ 楽団メンバー カルロス菅野(パーカッション)、奥山勝(ピアノ)、澁谷和利(ベース)、荒川琢哉(パーカッション)
24	1月17日(火)	不動小学校	5年生 79人	原田照久(トランペット)、金丸響子(トランペット)、 豊田実加(ホルン)、廣田純一(トロンボーン)、山崎 勇太(チューバ)
25	1月23日(月)	鷹番小学校	6年生 72人	松山冴花(ヴァイオリン)、津田裕也(ピアノ)
26	2月9日(木)	碑小学校	6年生 100人	渡辺玲子(ヴァイオリン)、小森谷裕子(ピアノ)
27	2月9日(木)	第十中学校	2年生 87人	白石光隆(ピアノ)、田中靖人(サクソ)
28	2月20日(月)	油面小学校	4年生 64人	川田知子(ヴァイオリン)、須関裕子(ピアノ)
29	3月29日(水)	みどりがおかこ ども園	4、5歳児 42人	平中麻貴(ソプラノ)、猪村浩之(テノール)、福崎由 香(ピアノ)

4 芸術文化情報の収集と発信

地域の芸術文化活動を活発化させるため、情報紙の発行やホームページ及び情報コーナーを活用しながら他施設の公演情報の紹介、関連書籍の閲覧など芸術文化関連情報の提供に努めた。

(1) 情報紙「アートレター」の発行

号数	発行日	発行部数	新聞折込(部数)
VOL.56 夏号	平成 28 年 7 月 3 日	70,000 部	あり(63,000 部)
VOL.57 秋号	平成 28 年 10 月 2 日	70,000 部	あり(63,000 部)
VOL.58 冬号	平成 29 年 1 月 5 日	70,000 部	あり(63,000 部)
VOL.59 春号	平成 29 年 3 月 26 日	70,000 部	あり(63,000 部)

(2) 広報事業

各公演やワークショップ等の広報については、当ホールホームページ、めぐろ区報、目黒区ホームページ、SNS(ツイッター、フェイスブック)に掲載するとともに、区内施設や商店街等にチラシを配布したり、ポスター掲示を依頼した。

また、めぐろ区民キャンパスプラザ 1 階の掲示板にアウトリーチ事業の報告を掲示して利用者に周知を図ると共に、情報紙アートレターvol.58 で、ワークショップ等の事業を報告し、目黒区総合庁舎の掲示板において文化ホールの事業内容の周知を図る等して、広報の拡充に努めた。

その他、昨年に引き続き目黒区勤労者サービスセンターニュースなどの一部媒体を活用し、暫定的にチケット料金を値下げし、公演チケットの販売促進に努めた。

新たな取り組みとして、車内吊り広告を都内・神奈川県東急バス全路線に掲出し、広く公演の周知を図った。さらに、新聞広告では他の広告に埋もれないよう、半5段など比較的大きい枠を取り、複数の事業を同時に掲載した。

以下、財団主催事業のうち一部事業についての周知方法。

事業名	有料広告	無料掲載 (新聞・放送等)
フレッシュ名曲コンサート	<ul style="list-style-type: none"> ●クラシック音楽情報誌「ぶらあぼ」「音楽の友」「モーストリークラシック」「びあクラシック」 ●読売新聞、朝日新聞、日本経済新聞 ●メールマガジンの活用 ●コープサービス「ライフなび」 ●東急バス車内中吊り ●都立大学駅前ポスター掲示委託 ●駅貼り広告(中目黒駅、学芸大学駅、都立大学駅、自由が丘駅、二子玉川駅、武蔵小杉駅、三軒茶屋駅) 	<ul style="list-style-type: none"> ●SNS ●チラシの配布 (他館、近隣図書館、楽器店、CDショップ音楽教室、音楽大学等) ●音楽の友 web 版「コンサートガイド」 ●ぶらあぼ web 版「コンサート情報」 ●intoxicate(本誌+web) ●自由が丘経済新聞(web) ●センターニュース

<p>錦織健 テノール・リサイタル</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●クラシック音楽情報誌「ぶらあぼ」「音楽の友」「モーストリークラシック」「ぴあクラシック」 ●読売新聞、朝日新聞、日本経済新聞 ●東京メトロ情報紙「メロガイド」 ●メールマガジンの活用 	<ul style="list-style-type: none"> ●SNS ●チラシを配布(他館、近隣図書館、楽器店、CDショップ音楽教室、音楽大学等) ●ぼけかる倶楽部(旅行専門 web)
<p>東日本大震災復興支援 コンサート</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●朝日新聞、読売新聞、日本経済新聞 ●東京メトロ情報紙「メロガイド」 ●駅貼り広告(中目黒駅、学芸大学駅、都立大学駅、自由が丘駅、二子玉川駅、武蔵小杉駅、三軒茶屋駅) 	<ul style="list-style-type: none"> ●東急電鉄全線各駅におけるモニター表示 ●毎日新聞、産経新聞、三陸新報 ●気仙沼市役所 ●(一財)地域創造レター

5 その他

(1) ホールの協賛等の運営

①賛助会

ホールの賛助会については、景気低迷の影響を受け、会員の辞退が相次いだため、平成 26 年度、個人会員の賛助会費を 10,000 円から 3,000 円に減額した。

昨年度の 32 社、個人会員 38 人、計 98 万 1 千円の収入に対し、今年度は 31 社、個人会員 35 人、計 90 万 5 千円の収入となり、前年度より 7 万 6 千円減収になった。

なお、賛助会員の特典の充実を図るため、公開リハーサルへの招待を行った。

②協賛

企業も芸術文化の担い手であり、企業に参加の機会を提供することで、以下のとおり、各企業と協力関係を構築することができた。

事業名	協賛企業	協賛内容
春風亭小朝・三遊亭円楽・春風亭昇太 新春爆笑三人会	昭和製菓(株)自由が丘蜂の家	お菓子
第 5 回避難訓練コンサート	サクマ製菓(株)	飴
パレットプログラム 2016 ダンスコース	(株)アペックス	清涼飲料水
大人のための演劇ワークショップ	(株)アペックス	清涼飲料水
TRIO from quasimode	サッポロホールディングス	ドリンク

(2) 地域と連携した顧客サービス

地域の活性化やチケット販売促進を視野に入れながら、ホールと商店街が連携した顧客サービスを平成 21 年度より当初 15 店舗の協力で開始した。この制度は「パーシモンおでかけマップ」に記載されているお店に財団主催または共催事業のチケットを持参すれば、各店舗からサービスの特典が得られる。今年度は 2 店舗の新規開拓ができた結果、現在 26 店舗の協力を受けている。また、これらの店舗では、ホールのチラシやポスターの掲示にも協力して頂いている。

第2 受託事業

1 芸術文化事業(定款第4条第1項第2号)

(1)受託事業(2事業=16公演)*目黒区の委託を受け、各事業を実施した。

No.	内容		
1 ① ⑭	公演名	第51回 目黒区文化祭	
	公演日	平成28年4月17日(日)～ 平成28年11月27日(日)	
	会場	めぐろパーシモンホール	
	料金等	入場無料	
	概要	目黒区内の芸術文化活動の向上と地域社会の活性化を図るとともに、活動団体の連携・協力を深めるため、目黒区文化祭を実施し、各芸術文化団体の活動を支援した。	

【内訳】

No.	月日	施設名	公演名	来場者
①	4月17日(日)	大ホール	自主グループ(発表)	469人
②	4月20日(水)～24日(日)	美術館区民ギャラリー	自主グループ(展示)	344人
③	5月7日(土)	大ホール	邦楽演奏会	486人
④	5月15日(日)	小ホール	謡曲大会	100人
⑤	5月22日(日)	小ホール	民踊まつり	160人
⑥	5月29日(日)	大ホール	吟剣詩舞道大会	80人
⑦	10月16日(日)	大ホール	洋舞祭	757人
⑧	10月16日(日)	区民センターホール	民謡大会	250人
⑨	10月22日(土)	大ホール	音楽祭	650人
⑩	10月29日(土)	大ホール	日本舞踊大会	420人
⑪	11月5日(土)	大ホール	合唱祭	700人
⑫	11月5日(土)～6日(日)	目黒区総合庁舎	華茶道展	224人
⑬	11月6日(日)	小ホール	演劇祭	185人
⑭	11月23日(水)～27日(日)	美術館区民ギャラリー	ユネスコ美術展	262人

No.	内容		
2 ①	公演名	めぐろオータムアート 2016 音楽と美術のワークショップシリーズ第5回 楽器を視る、聴く、描く —鉛筆から紡ぎだされる楽器のカタチ	
	公演日	平成 28 年 10 月 29 日 (土)、30 日 (日)	
	会場	目黒区美術館ワークショップ室	
	料金等	参加費 2,000 円 (高校生以上)	
	入場者	13 人 (定員 20 名)	
概要	目黒区美術館との共同企画。講師は秋岡陽 (音楽史・フェリス女学院大学学長)、寺崎百合子 (画家)、特別ゲストは鈴木広志 (サクソ奏者・作曲家)。鈴木広志所有のサクソやクラリネットなどの楽器をじっくり観察し、音を聴いたうえで黒一色の鉛筆で描くワークショップ。		
2 ②	公演名	めぐろオータムアート 2016 4歳から楽しめるコンサート 親子で楽しむキラキラ金管五重奏	
	公演日	平成 28 年 12 月 11 日 (日)	
	会場	中目黒GTプラザホール	
	料金等	全席自由 大人 1,000 円 子ども (4歳から中学生) 500 円	
	入場者	113 人 【完売】	
概要	低年齢から音楽に親しむことができる親子向けコンサート。 出演：原田照久 (トランペット)、金丸響子 (トランペット)、根本めぐみ (ホルン) 廣田純一 (トロンボーン)、田村優弥 (チューバ)、清田裕里江 (パーカッション) 【協力】(株) ヤマハミュージックジャパン		

(2) 指定管理事業(1事業=1公演)

No.	内容	
1	公演名	錦織健 テノール・リサイタル
	公演日	平成 29 年 1 月 28 日 (土)
	会場	大ホール
	料金等	全席指定 一般 3,500 円 区民一般 3,000 円 学生 1,000 円
	入場者	857 人
概要	より幅広い世代に、気軽に質の高い音楽に触れる機会を提供するため、各種メディアへの出演も多く、人気のある錦織健によるテノール・リサイタルを開催した。	



2 施設貸与・管理事業（定款第4条第1項第3号及び第4条第2項）

（1）施設の保守管理等

職員による日常点検や始業終業点検に加え、専門業者による定期的な保守点検を実施し、安全を確保しながら、利用者に使いやすい施設・設備の提供を行った。また、保守管理業者からの報告は、随時、財団から目黒区に報告した。

開館してから14年が経過し、機器類の劣化による部品交換等に関し、目黒区に適宜要望してきた結果、今年度は舞台機構部品交換工事（小ホール）、調光卓交換工事（小ホール）、大道具エレベーター・搬入エレベーター部品交換工事（小ホール）を行うことができた。その他の不具合については予算の範囲内で修繕し、利用者の安全・安心の確保に努めた。なお、大ホールの客席扉や遮光幕の不具合については、引き続き、目黒区に要望していくこととする。

①めぐろパーシモンホール

- | | |
|--------------|------------------|
| ア 舞台機構保守点検 | オ 客席椅子保守点検 |
| イ 舞台照明保守点検 | カ エレベーター・リフト保守点検 |
| ウ 開閉天井照明保守点検 | キ スタインウェイピアノ保守点検 |
| エ 音響保守点検 | ク ヤマハピアノ保守点検 |

②中目黒G Tプラザホール

- | | | |
|----------|----------|--------------|
| ア 音響保守点検 | イ 照明保守点検 | ウ ヤマハピアノ保守点検 |
|----------|----------|--------------|

（2）貸館サービス

①新規事項

- ア 文化ホールの利用促進のため、ホールの事業ポスター等を目黒区総合庁舎1階の掲示板に掲示した。
- イ 保育室の利用者に、ベビーベットのシーツの貸し出しを行った。
- ウ 抽選会における対応人員を増やし、利用者へのきめ細やかな対応を行った。
- エ 見学会の際、ピアノ庫内でピアノの試し弾きサービスを実施した。

②継続事項

- ア チケット販売の代行サービスを行っているが、今年度は22件の依頼があった（昨年度は18件）。
- イ 利用者等の要望について情報の共有化に努め、迅速な対応を図るため、舞台及び受付窓口の連絡会を定例化して開催した。
- ウ 貸館の利用毎に利用者アンケートを実施する等して、利用者の意向を把握し、利用者の立場と目線による接遇を窓口サービスの基本に据え、利用者にはいつも親切・丁寧・明るい窓口対応を心掛けた。
- エ 利用者の満足が得られる窓口サービスの向上に努めた。具体的には、早朝利用や直前利用を実施した。
- オ 顧客満足度による評価

年度	28年度	27年度	26年度
総件数	202件	198件	215件
評価	4.10	4.12	4.08

※施設利用者に対して、「施設利用」の内容、スタッフの応対、施設及び設備の快適性等について、「良い」・「やや良い」・「普通」・「やや悪い」・「悪い」の5段階評価（5点満点）をしていただき、回答を集計している。

(3) 職場訪問等の受け入れ

①学校の受け入れ

区立中学校等の職場訪問や職場体験に協力した。内容としては、公演の準備・撤去の手伝いや受付窓口の事務作業が中心であるが、財団主催事業の開催日程に該当した中学校については、会場設営から本番、片付けの手伝いを体験してもらった。

No	期 間	学校名
1	6月28日(火)～6月30日(木)【3日間】	区立東山中学校(2人)
2	1月16日(月)～1月18日(水)【3日間】	区立第八中学校(2人)
3	1月18日(水)～1月20日(金)【3日間】	区立中央中学校(2人)
4	2月7日(火)【1日間】	私立トキワ松学園(8人)

②視察の受け入れ

他自治体等の視察に積極的に協力した。

No	期 間	団体名
1	8月25日(木)	香川県丸亀市
2	11月8日(火)	ソウル特別市中浪区

(4) 収益事業

公益事業に資する収益事業として販売手数料及び自動販売機設置(13台)手数料での収入確保を図り、収益は前年度と比較して若干増加した。

補足資料

1 利用実績

名称	年度	開館日数	全体利用率			時間帯利用率			曜日別利用率	
			予約可能 件数(件)	利用 件数 (件)	利用率 (%)	午前 (%)	午後 (%)	夜間 (%)	平日 (%)	土・日 祝日 (%)
大ホール	28	358	876	688	78.5	86.5	85.7	64.7	71.5	89.5
	27	359	855	685	80.1	87.6	88.1	66.0	72.0	92.2
小ホール	28	358	876	769	87.8	86.4	91.1	85.6	83.2	95.5
	27	359	899	782	87.0	85.0	90.4	85.4	83.9	91.9
中目黒GTプラザ ホール	28	359	1,007	961	95.4	90.4	95.8	100.0	95.5	95.4
	27	360	1,017	989	97.2	94.7	97.1	100.0	96.2	99.2

2 利用ジャンル別集計

ジャンル	大ホール		小ホール		リハーサル室 など諸室		中目黒GT プラザホール		全施設合計	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
コンベンション	93	13.5	113	14.7	364	7.7	56	5.8	626	8.7
クラシック	180	26.2	322	41.9	1,523	32.0	193	20.1	2,218	30.9
ポピュラー	59	8.6	66	8.6	311	6.5	38	4.0	474	6.6
演劇	4	0.6	34	4.4	92	1.9	2	0.2	132	1.8
ミュージカル	13	1.9	1	0.1	27	0.6	0	0.0	41	0.6
舞踊	246	35.7	65	8.4	1,133	23.8	506	52.7	1,950	27.2
伝統芸能	41	6.0	44	5.7	162	3.4	11	1.1	258	3.6
映像	3	0.4	9	1.2	9	0.2	0	0.0	21	0.3
その他	49	7.1	115	15.0	1,134	23.9	155	16.1	1,453	20.3
合計	688	100	769	100	4,755	100	961	100	7,173	100
合計(27年度)	685	100	782	100	4,747	100	989	100	7,203	100

3 利用者別集計

利用者	大ホール		小ホール		リハーサル室 など諸室		中目黒GT プラザホール		合計	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
一般利用区内	65	9.5	151	19.6	1,215	25.6	115	12.0	1,546	21.6
一般利用区外	308	44.8	329	42.8	1,647	34.6	516	53.7	2,800	39.0
芸文登録団体	45	6.5	131	17.0	975	20.5	239	24.9	1,390	19.4
公的団体	31	4.5	19	2.5	100	2.1	0	0.0	150	2.1
財団	161	23.4	99	12.9	524	11.0	12	1.2	796	11.1
目黒区	78	11.3	40	5.2	294	6.2	79	8.2	491	6.8
合計	688	100	769	100	4,755	100	961	100	7,173	100
合計(27年度)	685	100	782	100	4,747	100	989	100	7,203	100

4 利用者数

月	大ホール			小ホール			リハーサル室等諸室 利用者	中目黒GTプラザホール			合計
	入場者	関係者	計	入場者	関係者	計		入場者	関係者	計	
4月	14,525	2,793	17,318	3,495	1,073	4,568	1,657	4,055	633	4,688	28,231
5月	9,907	2,311	12,218	5,516	1,427	6,943	1,963	3,321	686	4,007	25,131
6月	13,208	2,087	15,295	3,219	847	4,066	2,402	3,581	674	4,255	26,018
7月	15,750	3,605	19,355	5,271	1,165	6,436	2,409	5,821	672	6,493	34,693
8月	14,235	3,285	17,520	4,513	1,288	5,801	1,589	3,436	570	4,006	28,916
9月	10,736	1,854	12,590	3,596	1,155	4,751	2,444	3,824	447	4,271	24,056
10月	13,183	4,648	17,831	6,148	1,185	7,333	2,184	3,144	1,336	4,480	31,828
11月	14,652	3,513	18,165	3,914	1,368	5,282	2,277	3,224	1,320	4,544	30,268
12月	13,325	3,472	16,797	3,182	1,229	4,411	2,214	3,560	989	4,549	27,971
1月	15,122	2,363	17,485	1,345	571	1,916	2,437	3,175	1,053	4,228	26,066
2月	13,929	4,149	18,078	2,568	740	3,308	1,817	2,760	826	3,586	26,789
3月	13,685	3,259	16,944	6,038	1,632	7,670	1,742	3,910	846	4,756	31,112
合計	162,257	37,339	199,596	48,805	13,680	62,485	25,135	43,811	10,052	53,863	341,079
27年度	174,210	36,455	210,665	55,323	13,355	68,678	26,307	40,669	10,602	51,271	356,921

5 利用料収納実績

施設名 ※数字は年度	施設利用料	特殊器具利用料	合計	
めぐろパーシモンホール	28	118,924,910	25,458,060	144,382,970
	27	119,875,340	24,374,210	144,249,550
中目黒GTプラザホール	28	14,390,400	857,900	15,248,300
	27	14,591,300	909,700	15,501,000
合計	28	133,315,310	26,315,960	159,631,270
	27	134,466,640	25,283,910	159,750,550

※利用料収納については、会計上は当該年度利用分と次年度利用分を分けて計上するが、本表では収納日の年度の合計とした。

6 還付金実績

区分	施設利用料	特殊器具利用料	合計	27年度合計 【前年度実績】
28年度納付分に対する還付金	9,491,074	0	9,491,074	【27年度】 8,270,865
27年度納付分に対する還付金	5,777,337	0	5,777,337	【26年度】 4,979,825
合計	15,268,411	0	15,268,411	13,250,690

7 施設見学会開催実績

開催月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
見学回数	大ホール	2	2	2	2	2	2	2
	小ホール	2	2	2	2	2	2	2
参加人数		20	26	37	23	18	31	14

開催月		11月	12月	1月	2月	3月	合計	27年度 合計
見学回数	大ホール	2	2	2	2	2	24	21
	小ホール	2	2	2	2	2	24	24
参加人数		17	19	25	50	8	288	241

8 個別見学会対応実績

開催月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
見学回数	10	13	12	12	11	10	19

開催月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	27年度 合計
見学回数	13	12	11	16	10	149	163

第1 自主事業(定款第4条第1項第1号)

1 展覧会事業(自主企画展)

(1)	展覧会名	没後 40 年 高島野十郎展—光と闇、魂の軌跡		 展示風景(展示室B)
	会 期	4月9日(土)～6月5日(日)(50日間)		
	観覧料	一般 1000(800)円、高大生・65 歳以上 800(600)円、小中生無料、 ()内は20名以上の団体料金、障がい者は半額・その付添者1名は無料 (*下線部は各展覧会共通事項の為以下省略)		
	入館者数	19,917 人		
展示概要	<p>高島野十郎(1890－1975)は「孤高の画家」「蠟燭の画家」として、近年多くの人々から注目を集めている洋画家。福岡県久留米市で酒造家の五男として生まれた野十郎は、東京帝国大学農学部水産学科を首席で卒業するも画家の道を選び、独力で油彩技法の研究を重ねた。「画壇」とは没交渉、会派や団体に所属せず、家庭も持たなかった野十郎は、自らの理想とする写実的な絵画を生涯にわたり追求し続けたが、生前にはその画業が広く知られることはなかった。しかし、没後、福岡県立美術館によって「再発見」され、展覧会を重ねるにつれて、多くの愛好者を生み、評価が高まっている。</p> <p>この様な高島野十郎の展覧会は、当館では 1988 年以来 28 年ぶり二度目の開催となった。本展では、貴重な初期作品や欧米滞在中の作品に始まり、風景画、静物画、到達点とも言える「蠟燭」や「月」のシリーズまで、代表作を数多く含む 147 点の作品を5つの大きなトピックに沿って紹介した。近年新たに発見された作品や初公開の作品、そして科学的調査による技法分析結果などもまじえ、人々の心と目を引き付けて止まない高島野十郎の、再現的描写のみに留まらず、それを遥かに超えた生命感あふれる精緻な写実表現、そして光と闇に込められた高い精神性を示す絵画世界の全貌に迫る「決定版」の展覧会となった。</p>			 展示風景(ワークショップ室)
関連催事	①	<p>記念講演会「野十郎の奇蹟」 講師：西本匡伸氏(福岡県立美術館副館長) 開催日：4月23日(土) 14:00～15:30 参加者：155 人 内容：西本氏は、長年に渡り、高島野十郎の足跡を追いかけてきた。本講演では、作家が、福岡県で生まれて上京し、そして千葉県に柏にアトリエを構えてから没するまでの経緯を、貴重な作品や遺稿の画像を用いて分かりやすく語った。参加者は熱心に聞き入り、また終了後も列を成して積極的に質問していた。</p>		 講演会風景
	②	<p>担当学芸員によるギャラリーツアー 担当学芸員：山田敦雄 開催日：4月30日(土) 14:00～15:30 参加者：28 人 内容：本展担当学芸員が、参加者とともに展示会場をまわり、高島野十郎と明治期以降の日本近代美術の大きな流れとのかかわりを念頭に、高島の絵画の特質などに触れた。</p>		 ギャラリーツアー風景
広報実績	<ul style="list-style-type: none"> ・渋谷和彦「孤高の画家 高島野十郎展」4月21日(木)産経新聞 ・芥川喜好「凝視の人、流れに抗し」〈時の余白に〉4月23日(土)読売新聞 ・宮川匡司「写実の深遠に迫る《高島野十郎展》」4月27日(水)日本経済新聞 ・北澤憲昭「孤高の姿勢映す 蠟燭の炎」5月10日(火)朝日新聞 ・Museum Guide～芸術と文化のプロムナード～4月5日(火)朝日新聞ほか 			

(2)	展覧会名	童画の国から—物語・子ども・夢		 <p>展示風景(展示室 A)</p>  <p>展示風景(展示室 B)</p>  <p>童画の国としょかん</p>
	会期	7月16日(土)～9月4日(日)(44日間)		
	観覧料	一般 600(450)円、高大生・65歳以上 450(350)円、小中生無料		
	入館者数	5,126人		
展示概要	<p>大正から昭和にかけ、絵雑誌『コードモノクニ』(1922年創刊)を中心に、モダンで感性溢れる作品で多くの子どもたちの心を捉えた童画家、武井武雄(1894-1983)と初山滋(1897-1973)。子どもに与える目的で描かれた絵＝童画に、初めて高い芸術性を持ち込み、大人がみても十分に感動する芸術作品として制作された彼らの作品は、時代を越えて今なお多くの人に愛されている。本展では、武井・初山の童画に、目黒ゆかりの工業デザイナーで、彼らに憧れ数多くの童画も描いた秋岡芳夫(1920-1997)の作品を交えた約300点で童画の魅力を紹介した。</p> <p>展示は4章で構成し、第1章「童画の国から」では、童画のパイオニアとして生涯にわたり精力的に作品を描き続けた武井と初山の、戦後期の児童向け雑誌の童画を中心に展覧した。第2章は「戦前—“童画”のはじまり」とし、武井と初山が童画家として活動を始めた1920年頃にさかのぼり、彼らの初期作品と、当時、子ども向けの絵に革新をもたらした絵雑誌『コードモノクニ』や武井、初山が手がけた児童向け書籍等を紹介した。続く第3章「版画—ひろがる表現」では、武井と初山が1930年代後半から童画作品と並行して制作した創作木版画を取り上げ、彼らの幅広い創作活動の一端を紹介した。そして、第4章「1946年 日本童画会と秋岡芳夫の童画」は、のちに工業デザイナーとして多彩で先駆的な仕事を残すことになる秋岡芳夫の童画を、秋岡と武井・初山の直接的な接点となった「日本童画会」(1946年創設)の会報などと展覧し、武井、初山、秋岡の優れた創作活動の根底に子どもへのまなざしがあったことを再確認した。</p> <p>展示会場の一角には、「童画の国としょかん」を設置し、鑑賞者が座って自由に関連書籍を閲覧できる場を設けた。このコーナーは、親子連れや大人のお客様にも好評で、会期中、本を手にしながらかつくり閲覧されている姿が多く見られた。</p> <p>本展では、武井武雄、初山滋、秋岡芳夫の貴重な童画作品を通して、夢と希望とノスタルジーの交錯する時間と空間を多くの鑑賞者に提供することができた。また、展示した多数の原画は、印刷本とは違う、色彩表現の妙や描画材の繊細なニュアンスなど優れた美術表現として非常に見応えがあり、幅広い年齢層の方々に楽しんでいただけた展覧会となった。</p>			
関連催事	①	<p>大人のための美術カフェ 担当学芸員:佐川夕子 14:00～16:00</p> <p>開催日:8月27日(土) 参加者:2人</p> <p>内容:本展担当学芸員が、展覧会や出品作品について、分かりやすく解説した。</p>		
広報実績	<ul style="list-style-type: none"> ・月刊『モエ』8月号 ・『ブレーン』8月号 ・『リビング東京』7/16号 ・『東京メトロ沿線だより』7月号 			

(3)	展覧会名	色の博物誌—江戸の色材を視る・読む	 <p style="text-align: center;">展示風景(展示室 A)</p>  <p style="text-align: center;">展示風景(展示室 B)</p>  <p style="text-align: center;">展示風景(展示ロビー)</p>
	会 期	10月22日(土)～12月18日(日)(50日間)	
	観覧料	一般 800(600)円、高大生・65歳以上 600(500)円、小中生無料	
	入館者数	8,749人	
展示概要	<p>当館では1992(平成4)年から、「青」「赤」「白と黒」「緑」「黄色」をテーマにした5回の「色の博物誌」シリーズを開催し、考古・民俗・歴史・美術を横断しながら色材文化史を紡いできた。6回目となる本展では、「江戸時代の豊饒な色材」をテーマに、色料や絵の具とともに、これらにより制作された国絵図と浮世絵版画を取り上げた。</p> <p>第1章では、江戸幕府への献納物として各藩が精力をあげて制作した巨大な絵地図である《国絵図》を、備前国のものを中心に4点展示した。近年、東京大学史料編纂所を拠点とした研究チームの科学調査により、使用された色材の分析が進み、描写の技法なども判明した。これが結実したのが、東京藝術大学大学院保存修復日本画研究室が中心となって行われた模写《復元・備前国絵図》で、本展により研究成果が改めて周知されたといえる。</p> <p>第2章では、江戸時代の民衆の生活文化において愛され、主に染料系の色材による透明感がある華やかな色彩が表された《浮世絵》を取り上げた。展示室では、鈴木春信、鳥居清長、喜多川歌麿、歌川国芳、葛飾北斎ら著名な絵師による作品を展覧した。あわせて木版画家・立原位貫が半生をかけて追及した、当時の製法の絵具による浮世絵版画の復刻・復元作品と並べて展示した。年月を経た作品の色の変化が鮮明になるとともに、随所に示された色材の科学分析により側面から補強された。</p> <p>第3章では、様々な色材を取り上げた。わが国には、鉱物や昆虫、植物染料による色材など豊富な原料と、それを美しい色料へ精製する技術がある。こうしてできた天然の色材の一部を展示し、生成方法や画中での使われ方について映像を交えて紹介した。</p> <p>第4章では、絵具箱などの制作を支える画材、第五章では、江戸時代の絵師たちが手に取り、制作するにあたって参考にしたと考えられる画法書を紹介した。国内最初の画法書といわれる写本『本朝画法大伝』をはじめ貴重書を展示した。</p> <p>会期中は関連催事として、江戸時代の色材を再現するワークショップやセミナーを多数行い、展示と併せてより深く楽しんでもらうことができた。</p>		
関連催事	<p>① A コース「江戸の白—胡粉の話、江戸期最初の画法書について」</p> <p>講師: 中川晴雄氏(ナカガワ胡粉絵具株式会社 代表取締役) 上田邦介氏(絵具屋三吉・株式会社ウエマツ 代表)</p> <p>開催日: 11月13日(日) 14:00～17:00 参加者: 62人</p> <p>内容: 江戸絵画を支えてきた白い絵具の代表、胡粉にまつわるセミナー。ナカガワ胡粉絵具株式会社の代表・中川晴雄氏に胡粉づくりの話を、また膠(にかわ)の研究を続け、さまざまなメディウムを開発している絵具屋三吉・株式会社ウエマツ代表・上田邦介氏に、江戸期最初の画法書といわれる『本朝画法大伝』を解説してもらった。</p>		

	<p>②</p>	<p>Bコース「江戸の紅—紅花染と浮世絵の絵具「片紅」をつくる」 講師:梅原隆氏・片岡和子氏(町田市大賀藕絲館) 上村牧子氏(町田市立国際版画美術館) 開催日:11月19日(土) 13:00~16:00 参加者:25人(定員20名)</p> <p>内容:長らく途絶えていた絵具「片紅」をよみがえらせた鈴木孝男氏。氏の思想と技術を受け継ぐ町田市大賀藕絲館の梅原隆氏と片岡和子氏をお呼びし、紅についての講演と絹による紅染体験を行った。また同市にある町田市立国際版画美術館の上村牧子氏による片紅版画の実演と体験も行った。</p>	 <p>関連催事「江戸の紅」開催風景</p>
	<p>③</p>	<p>Cコース「江戸の藍—藍染と葛飾北斎による藍の絵具「飴出し法」の実験」 講師:森義男氏・森芳範氏(本藍染 紺九) 開催日:12月3日(土) 13:00~16:00 参加者:28人(定員20名)</p> <p>内容:日本の伝統的な藍染を行う本藍染紺九の4代目・森義男氏が藍染の文化・実際について語り、続いて参加者は小さな絹の布で、藍と荊安による染めを体験した。さらに、立原位貫氏と共同で実験してきた5代目・森芳範さんが、今回展示で紹介している「藍の飴出し」の公開制作を行った。</p>	 <p>関連催事「江戸の藍」開催風景</p>
	<p>④</p>	<p>Enoeno 公開実験室 絵具/色材—赤・白・黒・緑・青・・・etc 講師:榎本寿紀氏 (色材パフォーマー・大分県立美術館教育普及リーダー) 開催日:11月23日(水・祝) 10:00~17:30 参加者:のべ219人</p> <p>内容:展覧会の鑑賞とともに、実際に色を作る体験をする講座。過去の「色の博物誌」展のワークショップでさまざまなコースを仕掛けた榎本氏が、紅・白・黒・赤・青の5つの色材を、紅花やイタボ牡蠣など7種類の素材から作りあげた。過去に同氏のワークショップを受けた方をはじめ、多くの来場者が素材作りの公開制作を楽しんだ。</p>	 <p>「Enoeno 公開実験室」開催風景</p>
	<p>⑤</p>	<p>キョキョワークショップ—遊びの広場 「塗って重ねて楽しむいろいろの色」 講師:清瀬ゆり亜(ミュージアムエドゥケーター) 開催日:11月17日(木) 参加者:8人 11月27日(日) 参加者:13人 12月11日(日) 参加者:32人 (各日 13:00~16:30)</p> <p>内容:どなたでも参加できる「遊びの広場」を本展でも開催した。展示で印象に残った色を思い出し、色鉛筆を使って紙に自由に色を構成するプログラムを、ミュージアムエドゥケーターの清瀬氏がナビゲート。ひとりひとりの参加者が長時間取り組み、ゆったりと手を動かして、頭や心をリフレッシュしていたようだ。</p>	 <p>「遊びの広場」開催風景</p>

		<p>⑥ ハイライトトーク 担当学芸員:降旗千賀子 開催日:11月20日(日) 参加者:36人 11月26日(土) 参加者:42人 (各日 14:00~15:00)</p>	
		<p>⑦ 色の博物誌セミナー 色の話 担当学芸員:降旗千賀子 テーマと開催日:「赤」11月30日(水) 参加者:16人 「青」12月8日(木) 参加者:32人 「おたのしみ」12月14日(水) 参加者:24人 (各日 18:30~20:00)</p> <p>内容:本展担当学芸員が、国絵図や浮世絵に用いられた色について詳しく説明した。毎回「赤」「青」「おたのしみ」とテーマカラーを設け、実際に色材を触りながら、スライドでも豊富に画像を見せてのレクチャーを行った。</p>	<p>「ハイライトトーク」開催風景</p>  <p>「色の博物誌セミナー」開催風景</p>
		<p>⑧ 大人のための美術カフェ 担当学芸員:降旗千賀子 開催日:12月1日(木) 15:00~16:00 参加者:13人</p> <p>内容:本展担当学芸員が、国絵図や浮世絵に用いられた色について詳しく説明した。実際に藍銅鉱や孔雀石といった鉱物や、藍や紅といった植物など絵具を構成する色材を集めた箱を開け、実際に触りながら見るプログラムに、参加者は興味津々で、熱心に質問もしていた。</p>	
		<p>⑨ ミュージアムコンサート「江戸とバロック」 出演:鈴木広志(サクソ)、戸崎廣乃(チェンバロ)、 小林武文(打楽器) 開催日:11月5日(土) 15:00~ 参加者:58人</p> <p>内容:展覧会関連イベントとしてコンサートを行った。キーワードである江戸時代の年代が、ヨーロッパではバロック音楽の時代であったことに着目し、和・洋の打楽器と洋のチェンバロ、サクソで、祭りばやしやバロック時代の作品などを演奏した。</p>	 <p>ミュージアムコンサート「江戸とバロック」</p>
<p>広報実績</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・日曜美術館アートシーン 11月6日放映(NHK Eテレ) ・降旗千賀子「ぎやらいモール」11月22日(火)読売新聞夕刊 ・米澤敬「色は匂へど散りぬるを」REVIEW、コンフォルト、No.15、2017年2月、建築資料研究社 ・「ART OPENINGS」10月19日(水)The Japan Times ・「GIVE AWAYS」11月3日(木)The Japan News ・「今月の展覧会」月刊ギャラリー10月号 	

2 ワークショップ事業

(1) ワークショップ夏【童画と絵本】

同時期に開催した「童画の国から—物語・子ども・夢」と関連する4回のワークショップを多彩に展開。各回とも、絵本にまつわるプログラムを開催した。参加者には、絵本の原画や書籍・雑誌などの展示品をみることとあわせて、実際に手を動かしながら、その魅力を実感して頂いた。

①	講座名	こどものためのワークショップ キヨキヨワークショップ こんにちは！絵本の国の仲間たち—さあ、旅に出よう	 <p>各人が思い思いに色を塗っている様子。この後これを切って貼って、大きな絵本をつくりあげていく</p>
	実施日時	8月20日(土)、21日(日) 10:30~16:30 ※2日間コース	
	講師	清瀬ゆり亜氏(ミュージアムエドゥケーター)	
	対象・定員	① 小学3年生以上から6年生まで ② 中学生 各10名(計20名)	
	参加者数	9人[申込者数11人]	
	内容	まずスケッチをしながら展覧会をじっくりと見て、そのあと参加者各々が考えた主人公をグループで共有し、「旅」をテーマにした絵本をつくりあげた。普段は使わないような大きな紙に自分でつくった色紙を貼ったり、また色鉛筆やクレヨン等の画材を使って、グループで協力して一冊の絵本をつくり上げた。	
②	講座名	こどものためのワークショップ 線から広がる不思議な絵本	 <p>紙で挟んで糸を動かすと、予想もしなかった面白い形がたくさん出来上がった</p>
	実施日時	7月31日(日) 10:30~16:30	
	講師	中村良子氏(メグロアソビ冒険隊)	
	対象・定員	小学1年生以上6年生まで 25名	
	参加者数	28人[申込者数30人]	
	内容	たこ糸に鮮やかな色合いの絵具を塗って紙で挟み、動かして文様をつくるという糸版画の技法で、不思議な形をたくさんつくった。その後、紙をページに仕立てて毛糸などで括り、表紙をつけたり、中に絵を描いたり、ストーリーをつくったりして、オリジナルの絵本を仕上げた。	
③	講座名	おとなのためのワークショップ ちいさな絵本、豆本を作る	 <p>版の作り方について、講師の説明を真剣に聞く参加者</p>
	実施日時	8月6日(土)、7日(日) 11:00~17:00 ※2日間コース	
	講師	谷田幸氏(グラフィックデザイナー)	
	対象・定員	高校生以上 20名	
	参加者数	21人[申込者数26人]	
	内容	手のひらサイズの本「豆本」をつくる、2日間のプログラム。1日目は西洋と東洋の豆本の歴史について講義を受けた後、まず本文用紙に紙やゴムで版をつくって刷りあげた。2日目は和綴じ・糸綴じ・折本の3種類方法で製本した。そして、贈り物を送りたい相手を思い浮かべつつ内容を詰めていき、最後には箱に入れて仕上げた。	

④	講座名	ファミリーワークショップ <small>ものがたり</small> 手からひろがる 物語 —自分でつくる 指人形 <small>ゆびにんぎょう</small>	 <p>自分でつくった指人形の名前や住んでいる場所などについて、親子で発表を行った</p>
	実施日時	8月11日(木・祝)、14日(日) 13:00~16:00 ※2日間コース	
	講師	目黒区美術館 TVT(トイコレクション・ボランティアチーム)	
	対象・定員	4歳以上の2名1組の家族12組 (未就学児が参加の場合は、大人同伴)	
	参加者数	9組18人[申込12組]	
	内容	みんなで想像上の「国」を思い浮かべた後、そこに住む住人として指人形を考えていった。まず一日目は「童画の国から」展をみて、多様なインスピレーションをもらった後、紙粘土で頭部を作った。2日目は、軍手や手袋で身体をつくり、紙や布などで衣装を飾りつけた。最後に、指人形の名前や住んでいる場所などについて、親子で対話しながら発表した。	
⑤	講座名	遊びの広場 虹の絵本をつくろう！	 <p>空に大きな虹がかかった絵本が出来上がった</p>
	実施日時	7月16日(土)、17日(日)、18日(月・祝) 8月13日(土)、28日(日) 各13:00~16:00	
	講師	清瀬ゆり亜氏(ミュージアムエデュケーター)ほか	
	対象・定員	展覧会来場者	
	参加者数	延べ 173人	
	内容	展覧会に来た方ならどなたでも参加できる無料のプログラムを、7年ぶりに開催した。「童画の国から」展をみた後、虹色つまり7色の色鉛筆やペンなどの画材を用いて、小さな絵本をつくった。展示室で作品をみた直後ということもあり、似た題材や美しい色合いの絵本が多数生まれた。みな一様に滞在時間が長く、親子連れあるいは一人で、じっくりと制作している様が印象的だった。	

(2) ワークショップ春 【美術を見る・知る】

目黒区美術館では、美術表現をめぐる技法材料について掘り下げた内容のワークショップを実施してきた。こどものコースでは身体を使った体験を主とした内容を、大人のコースでは、専門性の高い講座を組み込んで、様々な角度から美術を見て、知ることに踏み込んだ。

①	講座名	こどものためのワークショップ とびこもう！深い海のカラフルな色の世界	 <p>巨大ビニールに、身体全体を使い描く</p>
	実施日時	2月18日(土)、19日(日) 10:30～16:30 ※2日間コース	
	ナビゲーター	メグロアソビ冒険隊(中村良子・小宮智央・山本桃子)	
	対象・定員	新小学1年生から中学生まで 20名	
	参加者数	22人(申込者数29人)	
	内容	<p>絵画の基本となる「描く」ことに身体を使って向き合うプログラム。グループに分かれた子どもたちが、「海」をテーマに、普段描くことのない大きなビニールを支持体にし、ビニール手袋を着けた手で、鮮やかなポスターカラーを伸ばして、身体全体を使って描くことを楽しみ、仕上げはクレヨンや切り絵で描き加えて、展示を行った。</p>	
②	講座名	おとなのためのワークショップ 美術の《解体新書》絵画編3 油彩画の模写と修復 フランドル絵画と藤田嗣治の作品を中心に	 <p>専門とするフランドル絵画の描法を実演する講師の手元に見入る参加者</p>
	実施日時	2月25日(土) 11:00～16:30	
	講師	渡邊郁夫(修復研究所21所長)	
	対象・定員	高校生以上 25名	
	参加者数	27人(申込者数33人)	
	内容	<p>美術館等で多岐にわたる作品修復を手掛けてきた修復家である講師が、まず専門とする15世紀フランドル絵画の模写について話し、白色の作り方や特徴的な描法を実演した。また当館でも所蔵する藤田嗣治の作品修復を通じて分かった乳白色の描法について話し、簡単な実演も行った。参加者は展示室の藤田作品の前で話すと一層実感が沸いたようで、熱心な様子で話に聞き入っていた。</p>	
③	講座名	おとなのためのワークショップ 美術の《解体新書》絵画編4 絵画の表具と和額	 <p>作品を支える裂地の裏打ちの講話</p>
	実施日時	3月11日(土) 11:00～16:30	
	講師	高橋章(高橋持法堂工房[表具師])	
	対象・定員	高校生以上 25名	
	参加者数	26人(申込者数33人)	
	内容	<p>普段展示された状態でしか見ることのない絵画の表面だけではなく裏面にも焦点あてたプログラム。糊を使い、軸物や屏風を仕立てる表具師を講師に迎え、まず表具の仕組みを学び、次に絹本や紙本などの作品と、作品を支える裂地の「裏打ち」という基本工程の実演に移った。表具の後は、細い板を組んだ組子という構造を使った和額について、当館の作品の和額を手掛けた時の話を交えつつ実演を行った。普段は見られない、作品を支える表具や和額の内側について知る貴重な機会に、参加者からは熱心な質疑が絶えず、充実した内容となった。</p>	

3 教育普及事業

(1) ギャラリーツアー

学校との連携事業として、小学校の学年単位での鑑賞教室を受け入れた。

No.	展覧会名等	学校名	開催日	学年	参加者
1	高島野十郎展	下目黒小学校	5月24日(火)	3年生	53人
2		下目黒小学校	5月25日(水)	2年生	56人
3		下目黒小学校	5月26日(木)	6年生	44人
4		下目黒小学校	5月31日(火)	5年生	54人
5	色の博物誌展	油面小学校	11月25日(金)	6年生	53人
6		中根小学校	12月8日(木)	4年生	59人
7	コレクション展	向原小学校	2月16日(木)	2年生	38人
8		五本木小学校	3月14日(火)	4年生	66人
9		下目黒小学校	3月14日(火)	5年生	27人
10		下目黒小学校	3月15日(水)	5年生	27人

(参加者計:477人)

ギャラリーツアー実施風景 「色の博物誌—江戸の色材を視る・読む」



(2) アウトリーチ

目黒区美術館にとどまるだけでなく、美術館館外での美術館周知と教育を兼ねた活動。当館の教材トイコレクションをもとに、独自のプログラムで児童館の子ども達とのコミュニケーションを図るなどした。

①	講座名	つみ木でつくろう ゆめの街	
	進行	目黒区美術館 TVT(トイコレクション・ボランティアチーム) 協力:目黒区民センター児童館	
	開催日	6月11日(土)13:30~15:00	
	実施場所	目黒区民センター児童館 B1階 幼児遊戯室	
	対象	目黒区民センター児童館に来館する子どもと親	
	参加者数	78人(大人30人/小学生17人/未就学児童31人)	
	内容	<p>区民センター児童館で毎年開催される春のプログラム。児童館に出張し、コレクションであるトイを使用して遊ぶという内容が基本となっている。プログラムの立案をはじめ、目黒区美術館のトイコレクション・ボランティアチームが主体となって実施している。今回は、トイの色や形の美しさを楽しみながら、「街」という切り口で、積み木を縦に積み、横に繋げるといふ、シンプルな面白さを体験する内容とした。最後に、ペットボトルの蓋を旗に見立てた「フラッグ・オブジェ」を配布し、積木がより家や街らしくみえるよう工夫した。本プログラムは、年々参加者が増え、地域に根付いている。また、児童館と美術館が連携し、新規利用者を開拓する機能も担う。</p>	
②	講座名	つみ木でつくろう おかしな森	
	進行	目黒区美術館 TVT(トイコレクション・ボランティアチーム)協力:目黒区民センター児童館	
	開催日	11月26日(土)13:30~15:00	
	実施場所	目黒区民センター児童館 B1階 幼児遊戯室	
	対象	目黒区民センター児童館に来館する子どもと親	
	参加者数	82人(大人36人/小学生6人/未就学児童40人)	
	内容	<p>区民センター児童館で実施を重ねているクリスマステーマにした冬のプログラム。プログラムの立案をはじめ、目黒区美術館のトイコレクション・ボランティアチームが主体となって実施した。</p> <p>今回は、紙でできた小さなクリスマスツリーが置かれたなかで、コレクションであるトイの造形を活かしながら、参加者が工夫して建物や広場などの形を創り上げた。後半は、お皿に盛った積み木をお菓子に見立て、これらも部屋に配置していった。完成後は、サンタクロースに扮したボランティアが室内を回り、何を作ったのかをインタビュー。子どもたちはとても嬉しそうに答えていた。</p> <p>参加者には、アウトリーチやトイの日のリピーターが増え、子どもとともに参加した大人も手を動かして主体的に参加する人が増えてきており、プログラムの精度の高さが、期待以上の効果をもたらしているといえる。</p>	

(3) トイの日

目黒区美術館が所蔵する積み木のコレクションを基本に、美しく造形的な積み木での感性教育、造形遊びを養うために長年にわたり実施。目黒区美術館 TVT(トイコレクション・ボランティアチーム) が、当館の教材トイコレクションでの遊びをサポートした。

講座名	トイの日	
進行	目黒区美術館 TVT(トイコレクション・ボランティアチーム)	
開催日	7月24日(日)、30日(土) 13:00~16:00	
実施場所	目黒区美術館 ワークショップ室	
参加者数	延べ 223人	
内容	<p>毎年開催している「トイの日」は、当館の教材トイコレクションを活用した人気のプログラムである。</p> <p>熟練したボランティアチームによって、会場構成がなされ、乳幼児から大人まで、それぞれのペースで自由に楽しむことのできる内容となっている。ボランティアは多彩なトイに関する知識を更新しながら、参加者の好奇心を刺激する働きかけを行い、参加者は、実際に身体を動かすことで、トイの可能性を広げていった。</p> <p>今回は、コレクションをしているネフ社の日本代理店、アトリエニキティキからもスタッフが派遣され、積み木の遊び方の実地指導も行われた。</p>	

実施風景

(4) 目黒区総合庁舎建築ガイドツアー

建築家村野藤吾が昭和 41(1966)年に設計した旧千代田生命本社である目黒区総合庁舎のデザイン的な見どころを解説して歩く毎年人気のプログラム。

① ④	講座名	目黒区総合庁舎建築ガイドツアー			
	進行	目黒区美術館 ボランティア建築班			
	内容	<p>【通常コース】【和室集中コース】【コンバージョンコース】を実施。建築ボランティアによるガイドは、個々の個性を活かした、多様な切り口で展開され、庁舎建築の魅力を伝えるものとして人気が高く、リピーターやコースを変えて複数回参加する方も見られた。今年度は、一般から専門家まで 311 名が参加した。</p>			
	開催日 (各日 14:00 ~16:00)	①	4月14日(木)		80人[申込者数98人]
		②	4月30日(土)		81人[申込者数89人]
		③	5月13日(金)		76人[申込者数96人]
		④	5月22日(日)		74人[申込者数88人]
対象・定員	中学生以上各回 70名				
参加者数	延べ 311人				

通常コース ツアー風景

(5) 館長美術講座

インドに留学し、仏教遺跡の現地調査を多数行ってきた秋山館長が、自ら撮影した貴重な数々とともに、仏教寺院と美術について、解りやすく語るプログラム。

① ② ③	講座名	目黒区美術館館長トーク インドの仏教遺跡と美術	
	講師	秋山光文(当館館長)	
	内容	「サーンチーの遺跡と美術」「ガンダーラの仏教遺跡と美術」「アジャンタ石窟と美術」と3回に渡って、異なるテーマを設けてインドの仏教遺跡と美術について語った。近隣だけではなく少し離れた地域の方々からも申し込みがあり、また連続して参加する様子も多く見られ、関心の高さが窺われた。	
	開催日	① 8月3日(水) 18:30~19:45	44人[申込者数55人]
		② 8月31日(水) 18:30~19:45	49人[申込者数55人]
		③ 9月11日(日) 13:00~15:00	59人[申込者数66人]
対象・定員	高校生以上各回50名		
参加者数	延べ 152人		



第1回 会場風景

(6) デザインキャンプ

今年で6回目となるハーマンミラー・ジャパン株式会社との共同企画は、近年人気のプログラムとして定着してきた。

講座名	色との対話 —場と時間から立ち現れる色の思考体験—	
開催日	2月4日(土) 10:30~16:30、11日(土・祝) 10:30~17:00 ※2日間コース	
実施場所	目黒区美術館、ハーマンミラーストア&ショールーム	
講師	SPREAD(小林弘和・山田春奈) [クリエイティブ・ユニット、デザイナー]	
対象・定員	高校生以上20名	
参加者	21人(申込者数24人)、[HARU]テープ剥がし体験:53人(引率3人)	
内容	<p>クリエイティブ・ユニットSPREADを講師に迎え、ハーマンミラーストアと行った共同ワークショップ。</p> <p>1日目は、ハーマンミラーストアのインテリアから、小物と家具を選んで色数を数え、そこから2色を選択。その色にタイトルを付け、さらに一週間、日々の生活のイメージを色分けした。</p> <p>2日目は、この色を、幅の広い和紙製の[HARU]テープに置き換え、展示室Cの壁に貼って大きく表現した。参加者は、一週間自分の内側を見つめ生まれた感覚を、色に置き換え、さらに大きな作品にする、新しい表現体験を楽しんでいたようだ。なおこの作品は、所蔵作品展開催期間中を通して、展示された。</p> <p>展示終了後は、下目黒小学校5年生の児童が来館し、壁面のテープを剥がしたり、余ったテープで壁などに絵を作って楽しむ小さなワークショップを行った。</p>	



ハーマンミラーストアで、参加者同士が話し合いながら2色を選択



一週間の色のイメージを、展示室Cの壁に大きく表現した



展示終了後、[HARU]テープを剥がす体験を楽しむ児童たち

4 その他美術に関する事業

(1) 博物館実習の受け入れ

学芸員資格取得単位修得のため、当館において実習を希望したい旨の依頼が多くあることから、平成8年度を初年度としてこれを受け入れている。実習期間、実習内容については、担当学芸員と面接により決定する。28年度は5人の学生を受け入れた。

【28年度受入実施校】

学習院女子大学、首都大学東京、東京女子大学、日本大学、武蔵野美術大学 各1人

(2) 広告事業等(広報一覧については後掲「補足資料4」(74頁)参照。)

① 広報事業

各展覧会やワークショップ等の広報については、当館ホームページ、めぐろ区報、目黒区ホームページを活用し、併せて展覧会ごとにプレスリリース(約300件)、ポスター・チラシの発送(約800件)、近隣商店会(7商店会)へのチラシ配付協力依頼などを行っている。なお、有料広告としては、「高島野十郎展」、「色の博物誌」展において、新聞広告掲載を実施した。

26年度から実施している都営バスの広告代理店と年間契約し、都営バス天吊り広告を開始した。美術館本館入口に設置している展覧会の年間ラインナップ看板のデータを加工したものを使用して、PRを行った。

24年度より、「高速メール配信 すぐメール」を採用し、メルマガ会員の募集をはじめた。展覧会チラシにQRコードを印刷し、専用のチラシを作成して会員の募集した結果、登録は299件に達した。(平成29年3月31日現在)。メルマガ会員登録者には企画展情報や各種催事・講演会・区民ギャラリーの空き情報を配信した。

22年度よりスマートフォンのアプリ「ミューぽん」事業に協力を開始し、28年度は125人の利用があった。

平成29年1月21日から公式フェイスブックを開始した。

区の文化・交流課の協力を受けて、7月1日(金)から14日(木)迄目黒区総合庁舎西口ロビーにおいて目黒区美術館の活動内容をパネルで紹介した。(後掲)

平成29年度に目黒区美術館開館30周年を迎えるにあたり、30周年記念ロゴマークのデザイン制作委託を行った。ロゴマークの大小シールを作成し、ポスター塔や名刺・封筒などに貼付し、PRを行っている。

② 共通入館券「ぐるっとパス」事業

28年度も27年度同様、都内の美術館・博物館等の普及活動や新たな需要の開拓等を目的とした「東京の美術館・博物館共通入館券実行委員会・ぐるっとパス」に参加した。実行委員会が、参加館の負担金、事業収入等により共通入館券の発行、ポスター・パンフレットの作成その他広報を行い、共通入館券の販売及び入館料の収入、並びに負担金額は年度末に精算される。

27年度は空調工事に伴う休館期間の影響で売上・入館者ともに減少したが、28年度は「高島野十郎展」会期での売り上げが好調(340冊)で、26年度を上回る実績となった。

【実施実績】

年度	参加館	共通入館券売上冊数	共通入館券による入館者数
28年度	79館	429冊 (35,027冊)	5,152人 (238,644人)
27年度	78館	199冊 (39,963冊)	2,870人 (229,545人)

* 上段は目黒区美術館、()内は全体数〔参加館、「ぐるっとパス」事務局取扱、委託販売の合計〕

③ 目黒区総合庁舎西口ホール 目黒区美術館広報展示

当館の立地や収蔵品などの概要、また展覧会事業や教育普及などの活動について、区民を主たる対象とし、パネルによる広報活動を行った(平成28年7月1日～14日)。

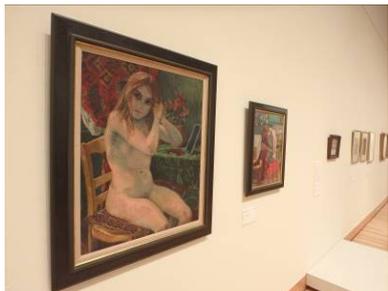


第2 受託事業(定款第4条第1項第2号)

1 指定管理事業展覧会

子どもたち展は、統合で学校数が減る中、目黒区の子どもたちによる表現活動の成果を、学校と地域を結びつける展示として、美術館という場を機能させながら、連携のもと例年通り実施できた。

(1)	展覧会名	めぐろの子どもたち展	 <p>中学校美術展示室の学校見学风景</p>
	会期	平成29年1月17日(火)～2月1日(水)(14日間)	
	観覧料	無料	
	入館者数	9,493人	
	展示概要	<p>目黒区立の幼稚園・こども園、小・中学校の子どもたちの作品を、表現活動の成果として展示し、また子どもたちの鑑賞教育の場としても機能している。教職員による展示は、子どもたちの作品を鑑賞するだけでなく、保護者や地域の人々が、教育現場における子どもたちの活動を、互いに理解する機会として長きにわたりその役割を果たしている。</p> <p>今回は、「米国ジョージア州チェロキー郡児童・生徒絵画作品展」「中国北京市東城区児童・生徒書画展」も同時開催した。</p> <p>作品数:4,113点</p>	

(2)	展覧会名	目黒区美術館コレクション展—来しかた、行くさき +特集展示 秋岡芳夫全集 4 暮らしと家具	 <p>コレクション展 展示風景(展示室 A)</p>  <p>「秋岡芳夫全集 4」 展示風景(展示室 B)</p>
	会期	2月11日(土)～3月19日(日)(32日間)	
	観覧料	一般 600(450)円、高大生・65歳以上 450(350)円、小中生無料	
	入館者数	2,222人	
	展示概要	<p>当館収集方針に基づく「海外で学んだ画家たちとその作品」に係る「滞欧作」に焦点を当て、近年新たにコレクションに加わった作品を中心に紹介した。</p> <p>展示室 A では、藤田嗣治《10 人の子どもたち》や高崎剛《軽業師 D》のほか、明治末から昭和にかけて制作した多才の画家・小川千甕が、遊学したヨーロッパ各国で描いた数多くのスケッチを小特集として展示した。展示室 B では、現代美術を紹介し、村上友晴をはじめとする版画家の作品、寺崎百合子の鉛筆による細密画などを展示した。近年の収集作品とともに、この契機ともなった作品も交えて展示することで、当館の形成するコレクションの繋がりが見える展示となった。</p> <p>また展示室 B では、特集展示として、目黒区ゆかりの工業デザイナー・秋岡芳夫の椅子などの家具に注目し、暮らしとデザインについての展示を行った。最後に、展示室 C では、ハーマンミラー・ジャパン株式会社との共同企画「デザインキャンプ」の公開制作を初日に行った。参加者が[HARU]という和紙のテープを壁に貼って精力的に制作を行い、出来上がった色鮮やかな作品は、本展開催期間中展示室を彩った。</p>	

2 作品の保管・活用

(1) 寄贈・寄託作品

受け入れなし

(2) 作品貸出

① 3件/3点

伊原宇三郎「カナペの女」

鈴木千久馬「婦人半身」

高島達四郎「少年青帽」

展覧会名： 昭和の洋画を切り拓いた若き情熱 1930 年協会から独立へ【巡回展】

貸出先： 鳥取県立博物館、田辺市立美術館

会期： [鳥取]平成 28 年 4 月 2 日～5 月 22 日、[田辺市]平成 28 年 7 月 9 日～8 月 28 日

貸出期間： 平成 28 年 3 月 15 日～9 月 3 日(平成 28 年度分の貸出期間)

② 2件/2点

高島野十郎「百合とヴァイオリン」

高島野十郎「牡丹花」

展覧会名： 没後 40 年 高島野十郎展——光と闇、魂の軌跡【巡回展】

貸出先： 足利市立美術館、九州芸文館

会期： [足利]平成 28 年 6 月 18 日～7 月 31 日、[九州芸文館]平成 28 年 8 月 7 日～9 月 22 日

貸出期間： 平成 27 年 11 月 17 日～平成 28 年 10 月 5 日 巡回先全体の会期で貸し出した

③ 1件/8点

日和崎尊夫「卵(8点組)」

展覧会名： 森羅万象を刻む—デューラーから柄澤齊へ

貸出先： 町田市立国際版画美術館

会期： 平成 28 年 4 月 29 日～6 月 19 日

貸出期間： 平成 28 年 4 月 20 日～6 月 23 日

④ 7件/7点

藤田嗣治「鶴」

藤田嗣治「レスリング」

藤田嗣治「裸婦(キキ・ド・モンパルナス)」

展覧会名： 藤田嗣治展—東と西を結ぶ絵画—【巡回展】

貸出先： 名古屋市美術館

会期： 平成 28 年 4 月 29 日～7 月 3 日

貸出期間： 平成 28 年 4 月 19 日～7 月 7 日

藤田嗣治「メキシコの少年」

藤田嗣治「十人の子どもたち」

展覧会名： 藤田嗣治展—東と西を結ぶ絵画—【巡回展】

貸出先 : 兵庫県立美術館
会期 : 平成28年7月16日～9月22日
貸出期間 : 平成28年6月30日～10月7日

藤田嗣治「殉教者」

藤田嗣治「動物群」

展覧会名: 藤田嗣治展—東と西を結ぶ絵画—【巡回展】

貸出先 : 府中市美術館

会期 : 平成28年10月1日～12月11日

貸出 : 平成28年9月23日～12月16日

⑤ 5件/5点

川村清雄「水差し」

川村清雄「いにしへの奈良の都」

川村清雄「三色すみれ」

国松桂溪「静物」

福沢一郎「大砲のある静物」

展覧会名: 物・語—近代日本の静物画

貸出先 : 福岡市美術館

会期 : 平成28年5月14日～7月3日

貸出期間 : 平成28年4月28日～7月21日

⑥ 2件/5点

国吉康雄「人物素描(4点)」[5画面。く005-002-(1)～(4). うち(2)は表・裏に画あり。]

国吉康雄「白い家のある風景」[く005-005]

展覧会名: 国吉康雄展

貸出先 : そごう美術館

会期 : 平成28年6月3日～7月10日

貸出期間 : 平成28年5月27日～7月12日

⑦ 1件/1点

東山魁夷「樹根」

展覧会名: NIHON画・新たな地平を求めて

貸出先 : 豊橋市美術博物館

会期 : 平成28年6月3日～7月10日

貸出期間 : 平成28年5月27日～7月12日

⑧ 4件/4点

藤田嗣治「裸婦(キキ・ド・モンパルナス)」

藤田嗣治「レスリング」

藤田嗣治「シェロン氏像」

藤田嗣治「君代のプロフィール」

展覧会名：レオナルド・フジタとモデルたち

貸出先：DIC 川村記念美術館

会期：平成28年9月17日～平成29年1月22日

貸出期間：平成28年9月2日～平成29年1月25日

⑨ 2件/2点

野村久之「メカニズム」

坂田一男「浴室の二人の女」

展覧会名：日本におけるキュビスムーピカソ・インパクト【巡回展】

貸出先：鳥取県立博物館、埼玉県立近代美術館、高知県立美術館

会期：[鳥取]平成28年10月1日～11月13日、[埼玉]平成28年11月23日～平成29年1月29日、[高知]平成29年2月12日～3月26日

貸出期間：平成28年9月16日～平成29年4月8日(巡回3会場全体の会期で貸し出した。)

(3) 資料貸出

なし

3 区民ギャラリーの貸出(利用状況については後掲「補足資料3」(73頁)参照。)

区民ギャラリーの貸出に関する業務を行った。利用率は26年度以前並みに回復した。

空き状況については従来のホームページでの情報公開、メルマガ情報配信、チラシの配布に加え、めぐろ観光まちづくり協会の窓口にチラシを置いていただいた。また、新規利用者の開拓を狙い、美術関係学部がある大学に利用案内を送付した。

兼ねてから要望があったローリングタワーに昇る際の補助ステップと掃除用具一式を導入した。

【利用実績】

年度	利用実延面数	利用料収納実績	利用率	入館者数
28年度	559面	6,125,000円	95.4%	延べ31,730人
27年度	497面	4,998,000円	86.9%	延べ28,611人

*利用料収納は、会計上は当該年度と次年度利用分を分けて計上するが、本表では収納日の年度の合計とした。

4 その他の受託事業

めぐろオータムアート

目黒区との共催事業。めぐろパーシモンホールとの連携事業として、音楽と美術、音楽と建築の融合をテーマにワークショップ等を実施した。

(1)	講座名	音楽と美術のワークショップシリーズ第5回 「楽器を視る、聴く、描く」 —鉛筆から紡ぎだされる楽器のカタチ	
	講師	秋岡陽(音楽史/フェリス女学院大学 学長) 寺崎百合子(画家) 【特別ゲスト】鈴木広志(サックス奏者/作曲家)	
	開催日	10月29日(土)、30日(日) 10:30~17:30 [全2日間]	
	実施場所	目黒区美術館 ワークショップ室	
	対象・定員	高校生以上 20名	
	参加者数	13人[申込者数14人]	
	内容	<p>パーシモンホールとの合同企画の第5回目。今回は、多様な管楽器の音色を聴いた後、次にそれを鉛筆のみのモノクロームで表現することを通して、音楽と美術の両方にアクセスするプログラム。</p> <p>まずは秋岡氏による、楽譜などの「描かれる音楽」についての話の後に、鈴木氏がサックスなどの管楽器をふんだんに使って演奏を行った。さらに参加者が楽器をじっくりと観察した後、鉛筆の繊細な筆致を重ねて作品を制作する寺崎氏が鉛筆の使い方についてレクチャーを行った。そして参加者は、自ら選んで撮影したものの写真をもとに、全体や部分、あるいは音から連想される形などを、白い紙に黒い鉛筆を使って表現した。音楽と美術、異なる領域がそれぞれにもつ魅力を耳と目で感じる充実したプログラムとなった。</p>	 <p>実施風景</p>
(2)	講座名	目黒建築めぐり塾「親子東大探検隊」	 <p>東京大学駒場キャンパスでの実施風景</p>
	講師	折茂克哉(東京大学教養学部駒場博物館助教)	
	開催日	11月5日(土) 10:00~12:00	
	実施場所	東京大学駒場Iキャンパス、東京大学駒場博物館	
	対象・定員	小学校4年生~6年生とその保護者 2名1組 10組	
	参加者数	22人[11組][申込者数22人[11組]]	
	内容	<p>近年連続で東京大学を会場に開催し、昨年度からは親子を対象としたプログラムに変更、好評を博してきた。親子双方にとって充足感の高いイベントとなるよう、子ども向けの解説を基本としながら、大人向けの詳細な解説も随時行うよう工夫がなされた。東京大学の歴史的な背景から誕生した建築を、折茂氏の話聞きながらじっくり見ること、その建築の魅力や意義を再認識する機会となり、親子で建築に親しむことのできる有意義なプログラムとなった。</p>	

(3)	講座名	目黒建築めぐり塾「『駒場』を『読む』 —東京大学 I・II キャンパスと日本民藝館」	 <p>東京大学駒場キャンパスでの実施風景</p>
	講師	折茂克哉(東京大学教養学部駒場博物館助教) 永井達也(建築家)	
	開催日	11月18日(金) 10:30~16:00	
	実施場所	東京大学駒場 I・II キャンパス、東京大学駒場博物館、 日本民藝館	
	対象・定員	高校生以上 20名	
	参加者数	11人[申込者数 11人]	
	内容	<p>東京大学教養学部駒場博物館助教の折茂氏、建築家の永井氏が、それぞれの観点から建築の魅力を参加者に詳細に講話した。</p> <p>駒場 I・II キャンパスの見学では、開学当初から今に至るまでの構内の変遷について、また現在どのような考え方で整備が進められているかについて、実際の場所で臨場感たっぷりに説明した。</p> <p>日本民藝館でも、本館だけではなく別棟の柳宗悦邸の書斎を見学し、「建築」という視点からみることで、参加者に新たな一面を発見してもらう機会ともなった。</p>	

第3 その他事業(定款第4条第1項第4号、及び第4条第2項)

1 芸術文化活動団体等や学校教育への協力・支援

(1) 区展(区民作品展)への協力

絵画、写真、書、手工芸など区民の美術作品を公募展示する区展実行委員会にオブザーバー参加し、事前打合せから会場等の設定・撤去、展覧会の運営、広報等に協力した。

- ・会期:9月19日(月・祝)～10月2日(日)(12日間)
- ・入場者数:3,785人
- ・出品点数:533点

(2) 区内美術4団体への協力

共催事業として区民ギャラリーを活用して各団体の展覧会を開催した。美術館として区報掲載や住区センター・地区サービス事務所へのチラシ配付等広報に協力した。

- ①目黒区写真美術協会展(会期:4月12日(火)～17日(日)、入場者数:92人)
- ②目黒区書作家協会展(会期:5月18日(水)～22日(日)、入場者数:454人)
- ③目黒区美術家協会展(会期:6月22日(水)～26日(日)、入場者数:264人)
- ④目黒区美芸作家協会展(会期:平成29年3月28日(火)～4月2日(日)、入場者数716人)

(3) 区内中学校等への協力

区内中学校の職場訪問に協力した。

- ・平成29年1月26日(木) 目黒区立大鳥中学校1年生11人
- ・平成29年2月7日(火) トキワ松学園中学校2年生3人

(4) 視察等の受け入れ

- ・5月27日(金) 日本大学通信教育部 博物館実習Ⅱ(見学実習)13人
- ・11月8日(火) ソウル特別市中浪区職員8人が目黒区職員と来館。「色の博物誌」展見学)

(5) 研修等の受け入れ

- ・12月1日(木) 日本色彩学会関東支部26人(「色の博物誌」展)
- ・12月6日(火) 目黒区内小学校図工教諭のための説明会8人(「色の博物誌」展)

2 危機管理体制

目黒区美術館消防計画に従い、目黒消防署の指導を得て、震災を想定した職員・受付スタッフ・監視員参加の避難訓練を実施した。また、同じく目黒消防署の指導のもと職員対象のAED講習を行った。

3 収益事業等(ミュージアムショップ、ラウンジ運営)

通年で委託契約をしている受託商品の販売を行った。また、各展覧会に関連した書籍等を販売し、手数料収入を得た。

「高島野十郎展」においては、「ショップ・イン・ショップ」の形式を採用し、展覧会関連商品が業者により販売された。

「色の博物誌」展においては、図録が大変好評で、合計1,304冊を売り上げ、展覧会最終日に売り切れとなった。購入出来なかったお客様からの要望も多く、展覧会終了後に増刷し、過去図録として販売することとした。その他、関連書籍ほか複数の受託商品の販売を行った。町田市大賀藕絲(ぐうし)館から

の受託商品である「紅花餅」(染料)は大変好評で、累計 125 個を売り上げた。

展覧会図録については、1年を通してホームページ上から簡単に申し込みが可能な通信販売を実施しており(電話、FAX申し込みも可)、遠隔地のお客様からは大変好評であった。

「童画の国から」展の会期中にラウンジ特別限定メニューとして、炭酸清涼飲料水を販売した。

外国人のお客様の増加に伴い、ラウンジのメニュー及び代金の支払い方法について、英文表記を追記した。

4 ボランティア活動

ボランティア会会員 98 人(平成 29 年 3 月 31 日現在)が、各班毎に美術館運営に関するボランティア活動を行った。

ラウンジ班は展覧会の開催期間延べ 202 日(区展を含む)にわたり、ラウンジ運営に協力した。

トイコレクション班はアウトリーチ 2 回及び「トイの日」2 日間、夏のワークショップ恒例のファミリーワークショップ「手からひろがる物語ー自分でつくる指人形」の企画から実施まで精力的に活動した。

建築班は目黒区総合庁舎建築ガイドツアー及びオータムアート事業に協力した。

広報班は展覧会のチラシ、ポスター発送作業に協力した。

資料整理班は展覧会のデータ入力補助や資料整理のほか、作品リストや展覧会カレンダー、各種案内の英文翻訳を行った。

ボランティア研修として 9 月 14 日(水)にバスツアーを開催し、横須賀美術館、神奈川県立近代美術館別館の見学を行った。総勢 50 人の参加となり、27 年度に引き続きバス 2 台で実施する結果となった。

平成28年度 展覧会事業実施状況

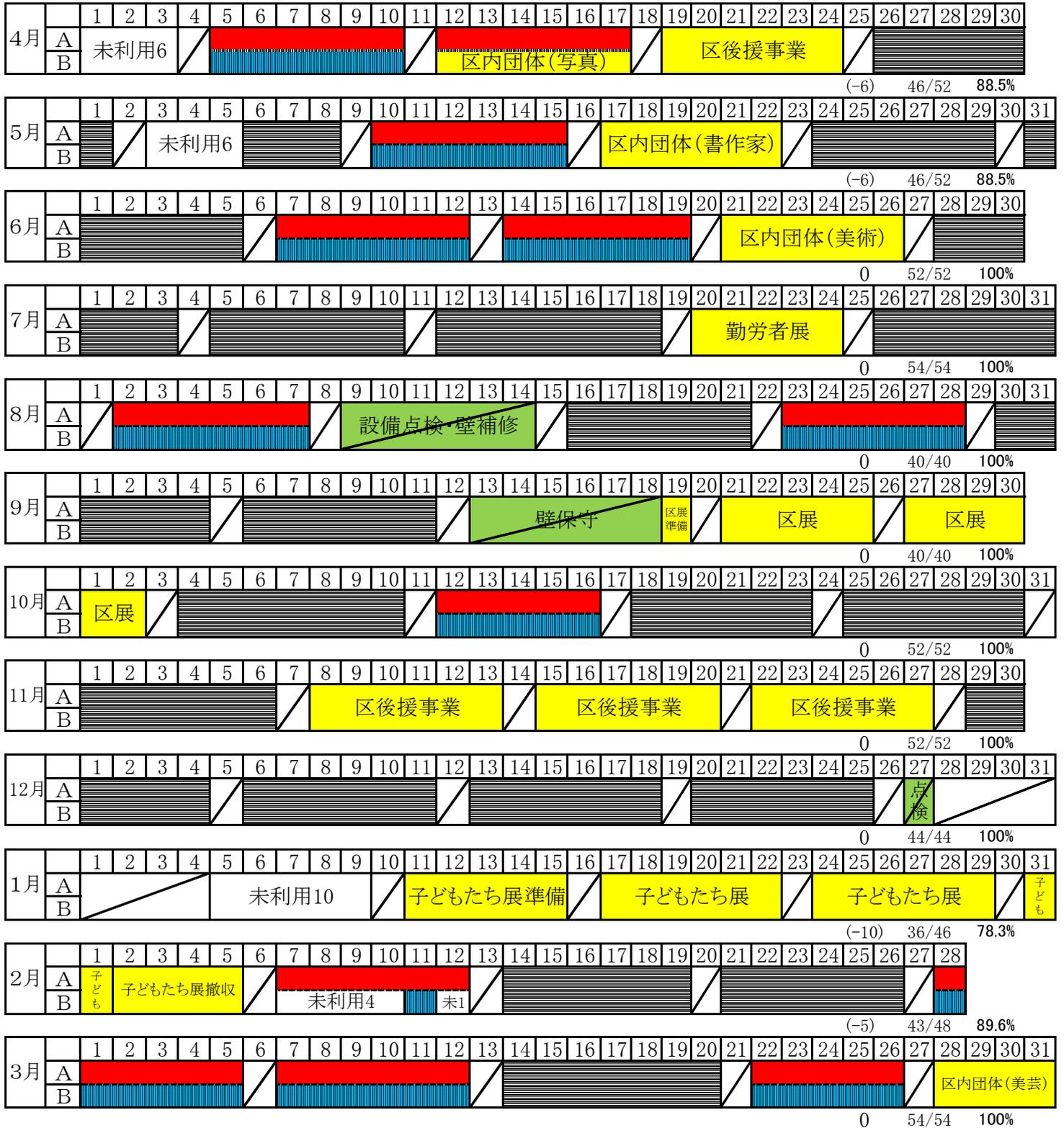
区 分		没後40年 高島野十郎展	童画の国から展	色の博物誌展	めぐろの子どもたち展	コレクション展+ 秋岡芳夫全集4	計	
会 期	期間	H28.4.9～6.5	H28.7.16～9.4	H28.10.22～12.18	H29.1.17～2.1	H29.2.11～3.19		
	日数	50	44	50	14	32	190	
入館者数(人)		目標	20,000	6,160	8,150	10,000	2,690	47,000
		実績	19,917	5,126	8,749	9,493	2,222	45,507
有料			15,070	2,430	4,568	0	562	22,630
一般(下記以外)			9,041	1,815	3,187	0	352	14,395
高校・大学・高齢者			6,029	615	1,381	0	210	8,235
無料			4,847	2,696	4,181	9,493	1,660	22,877
招待券			2,334	1,153	2,197	0	827	6,511
ぐるっとパス			1,995	913	1,642	0	602	5,152
幼児・小・中学生			119	574	97	0	42	832
小学生ギャラリーツアー			208	0	112	2,017	157	2,494
その他(ピリエ会員等)			191	56	133	7,476	32	7,888
入館者割合(%)								
有料			75.7	47.4	52.2	0.0	25.3	49.7
無料			24.3	52.6	47.8	100.0	74.7	50.3
1日当たり入館者数(人)			398	117	175	678	69	240
入館料収入(円)			13,650,560	1,371,040	3,293,100	0	139,750	18,454,450
備 考								

*「その他」は内覧会参加者、ピリエ等の入館者数(「めぐろの子どもたち」展については一般入館者数である)

平成28年度 展覧会入館者数等の推移

区分		平成28年度	平成27年度	前年度比較	
展覧会事業	事業数	5	4	1	
	開館日数	190	153	37	
	入館者数 (人)	有料	22,630	11,873	10,757
		無料	22,877	25,745	△ 2,868
		合計	45,507	37,618	7,889
観覧料(円)	18,454,450	8,545,990	9,908,460		
教育普及事業 (ワークショップ事業含む)	春夏ワークショップ	開催数(回)	7	8	△ 1
		参加者数(人)	151	155	△ 4
	ギャラリーツアー	開催数(回)	10	8	2
		参加者数(人)	477	441	36
	トイコレクション アウトリーチ	開催数(回)	2	2	0
		参加者数(人)	160	188	△ 28
	トイの日	開催数(回)	2	2	0
		参加者数(人)	223	207	16
	庁舎建築ガイド ツアー	開催数(回)	4	4	0
		参加者数(人)	311	334	△ 23
	デザインキャンプ	開催数(回)	1	1	0
		参加者数(人)	21	41	△ 20
	遊びの広場	開催数(回)	5	実施無し	5
		参加者数(人)	173		173
	ワークショップセミナー 色の博物誌	開催数(回)	3	4	△ 1
		参加者数(人)	72	231	△ 159
	館長美術講座	開催数(回)	3	実施無し	3
		参加者数(人)	152		152
	大人のための 美術カフェ	開催数(回)	2	2	0
		参加者数(人)	15	52	△ 37
	合計	開催数(回)	39	31	8
		参加者数(人)	1,755	1,649	106

平成28年度 目黒区美術館 区民ギャラリー利用状況



全体 (-27) 559/586 95.4%

- 凡例
- A面のみ利用
 - B面のみ利用
 - 全面利用
 - 共催、後援事業
 - 保守、補修等
 - 休館日

平成28年度 広報一覧

広報内容	広報手段	件数等	備考
各 展 覧 会 ・ ワ ー ク シ ョ ッ プ 等	当館ホームページ	535,187件(H27)	全体アクセス数
		593,854件(H28)	
	めぐろ区報		事業毎
	区ホームページ		事業毎
	プレスリリース送付	約300件	各展覧会毎
	ポスター・チラシ送付	約700件	各展覧会毎
	JR目黒駅広告看板掲出(有料広告)		通年
	JR目黒駅周辺案内図「ナビタ」掲出(有料広告)		通年
	都営バス天吊り広告(有料広告)	1路線	通年
	新聞掲載(有料広告)	2件	高島野十郎展
			色の博物誌展
	ぐるっとパス事業参加(有料:分担金)		通年
	駅貼り広告(有料広告)	中目黒・大岡山・ 武蔵小山・学芸大学	童画の国から展
	メールマガジン	20件	事業毎
ツイッター		H27.6開始	
フェイスブック		H29.1.21開始	
区 民 ギ ャ ラ リ ー 利 用 案 内	当館ホームページ	535,187件(H27)	全体アクセス数
		593,854件(H28)	
	メールマガジン	2件	空き室発生時
	ツイッター		H27.6開始
	フェイスブック		H29.1.21開始
	都内と近辺大学(芸術学部)へギャラリー案内送付		
めぐろ観光まちづくり協会へ空き情報チラシ送付			
区 庁 舎 報 等 で の	西口ロビーパネル展示	14日間	7.1(金)～14(木)
	1階食堂近くの掲示板利用(ポスター掲出)	1か所	通年
	文化・交流課窓口等(ポスター・チラシ送付)		各展覧会毎
	めぐろ観光まちづくり協会窓口(ポスター・チラシ送付)		各展覧会毎

2 処務の概要

(1) 重要な契約の概要

契約名	契約年月日	相手方	契約趣旨
目黒区文化ホールの管理に関する基本協定書	平成26年4月1日	目黒区長	1 管理の業務の範囲 (1) 目黒区文化ホール条例第4条に規定する事業に関する業務 (2) 施設の利用の承認、不承認、制限その他の利用に関する業務 (3) 施設及び器具等の日常の維持管理に関する業務 2 契約期間 平成26年4月1日から平成31年3月31日まで
目黒区美術館の管理に関する基本協定書	平成26年4月1日	目黒区長	1 管理の業務の範囲 (1) 目黒区美術館条例第4条に規定する事業に関する業務 (2) 施設の利用の承認、不承認、制限その他の利用に関する業務 (3) 施設及び器具等の日常の維持管理に関する業務 2 契約期間 平成26年4月1日から平成31年3月31日まで
目黒区文化ホールの管理の業務に係る個人情報取扱覚書	平成26年4月1日	目黒区長	目黒区文化ホールの管理に関する基本協定書第17条(個人情報の保護)に基づく覚書
目黒区美術館の管理の業務に係る個人情報取扱覚書	平成26年4月1日	目黒区長	目黒区美術館の管理に関する基本協定書第17条(個人情報の保護)に基づく覚書
目黒区文化ホールの管理運営に関する年度協定書	平成28年4月1日	目黒区長	目黒区文化ホール管理業務の各年度の業務内容及びその実施の対価として支払われる管理経費を定める協定書
目黒区美術館の管理運営に関する年度協定書	平成28年4月1日	目黒区長	目黒区美術館管理業務の各年度の業務内容及びその実施の対価として支払われる管理経費を定める協定書

(2) 財団運営会議開催状況

回数	開催年月日	議 題
第1回	平成28年5月6日	平成27年度決算書の監事への提出
		理事会・評議員会提出議案等の確認について
第2回	平成28年5月31日	平成27年度決算書及び監査報告書の監事からの受理
		理事会・評議員会提出議案等の確認について
第3回	平成28年9月15日	理事会・評議員会提出議案等の確認について
		平成29年度区に対する予算要求について
第4回	平成29年2月1日	理事会・評議員会提出議案等の確認について

(3) 理事会・評議員会開催状況

① 理事会

回数	開催等年月日	議案番号等	件名
第1回	平成28年6月7日	議案第1号	・平成27年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団事業報告及び決算(案)
		議案第2号	・平成28年度目黒区文化ホール事業計画の変更(案)
		議案第3号	・平成28年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団補正1号予算(案)
		議案第4号	・平成28年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団定時評議員会の招集について(案)
		協議事項	・平成29年度文化ホール及び美術館の事業計画(素案)について
		報告事項	・平成28年度文化ホール及び美術館の事業報告について(5月20日現在) ・理事長・副理事長・常務理事の職務執行状況の報告について
第2回	平成28年10月6日	議案第5号	・平成28年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団第2回評議員の招集について
		議案第6号	・公益財団法人目黒区芸術文化振興財団評議員選定委員会委員の選任について
		議案第7号	・公益財団法人目黒区芸術文化振興財団財務規程の一部を改正する規程
		協議事項	・平成29年度文化ホール及び美術館の事業計画(原案)
		報告事項	・平成28年度文化ホール及び美術館の事業報告(9月7日現在) ・平成27年度文化ホール及び美術館指定管理者運営評価結果報告について
第3回	平成29年2月9日	議案第8号	・平成29年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団事業計画(案)
		議案第9号	・平成29年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団収支予算(案)
		議案第10号	・平成29年度資金調達及び設備投資の見込みについて(案)
		議案第11号	・平成28年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団第3回評議員会の招集について(案)
		議案第12号	・専決処分した事項の報告及び承認について(案)
		議案第13号	・平成28年度文化ホール及び美術館の特定費用準備資金の保有について(案)
		報告事項	・平成28年度文化ホール及び美術館の事業報告(1月15日現在) ・理事長・副理事長・常務理事の職務執行状況の報告について ・目黒区財政援助団体等監査の実施結果について
書面表決	平成29年3月24日	議案第14号	・公益財団法人目黒区芸術文化振興財団事務局長の任用について
書面表決	平成29年3月31日	議案第15号	・公益財団法人目黒区芸術文化振興財団常務理事の選任について

② 評議員会

回数	開催等年月日	議案番号等	件名
第1回	平成28年6月23日 (定時評議員会)	議案第1号	・平成27年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団事業報告及び決算(案)
		議案第2号	・平成28年度目黒区文化ホール事業計画の変更(案)
		議案第3号	・平成28年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団補正1号予算(案)
		協議事項	・平成29年度文化ホール及び美術館の事業計画(素案)について
		報告事項	・平成28年度文化ホール及び美術館の事業報告について(5月20日現在)
第2回	平成28年10月25日	協議事項	・平成29年度文化ホール及び美術館事業計画(原案)
		報告事項	・平成28年度文化ホール及び美術館の事業報告(9月7日現在) ・平成27年度文化ホール及び美術館指定管理者運営評価結果報告について
第3回	平成29年2月23日	議案第4号	・平成29年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団事業計画(案)
		議案第5号	・平成29年度公益財団法人目黒区芸術文化振興財団収支予算(案)
		議案第6号	・平成29年度資金調達及び設備投資の見込み(案)
		報告事項	・平成28年度文化ホール及び美術館事業の実績報告(1月15日現在) ・目黒区財政援助団体等監査の実施結果について
書面表決	平成29年3月28日	議案第7号	・公益財団法人目黒区芸術文化振興財団理事の選任について

(4) 評議員・理事・監事名簿

① 評 議 員

(順不同)

役 職	氏 名	備 考
評議員	新 井 篤 美	早稲田大学招聘研究員
〃	伊 藤 昌 明	目黒信用金庫理事相談役
〃	柏 谷 秀 男	弁護士
〃	柳 屋 隆	エレクトラー株式会社代表取締役
〃	塩 田 純 一	新潟市美術館館長
〃	安 原 喜 武	目黒区美芸作家協会会長
〃	井 上 裕佳子	音楽関係通訳・翻訳家
〃	木 田 左和子	ピアニスト・昭和女子大学非常勤講師
〃	箱 守 栄 一	美術品リスクコンサルタント
〃	牧 野 雅 子	童謡の里めぐろ保存会
〃	橋 本 安 男	目黒区民交響楽団

(平成29年3月31日現在)

② 理 事

(順不同)

役 職	氏 名	備 考
理 事 長	清 水 美知雄	ワッティー株式会社代表取締役
副 理 事 長	山 下 直 純	山下寝具株式会社会長
常 務 理 事	本 多 浩 一	公益財団法人目黒区芸術文化振興財団事務局長
理 事	今 中 美耶子	弁護士
〃	田 中 晴 久	平和祈念展示資料館学芸員
〃	秋 山 光 文	目黒区美術館長
〃	中 屋 早紀子	声楽家（桐朋学園芸術短期大学音楽科講師）
〃	三 木 隆二郎	公益財団法人年金シニアプラン総合研究機構特任研究員
〃	島 崎 忠 宏	めぐろパーシモンホール館長
〃	渡 部 弘	行政経験者

(平成29年3月31日現在)

③ 監 事

(順不同)

役 職	氏 名	備 考
監 事	増 秀 夫	税理士
〃	大 竹 勲	行政経験者

(平成29年3月31日現在)